

渋谷ファッション&アート専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	学年	学期
服飾専門課程	ファッション総合科	2026年度	1年	前期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	単位
必修	服飾造形基礎	講義 実習 実技	平良 恵	4

授業の到達目標 (目標とする検定)	基本的理論の理解、基本的技術の習得を目標とする
----------------------	-------------------------

授業の内容	田中千代の服飾の基本となる授業。 扱いやすい綿素材を中心にスカート(裏無し)・ブラウス(裏無し)の作成の作成から 田中千代式原型の操作方法や基礎的な平面作図を演習し服の構造について理解を深め、デザインの 表現力を高める。 服作りの基礎となる採寸、体型補正、ミシン操作指導から始め、課題に必要なパターン知識、縫製の基礎を 段階的に学ぶ。
-------	--

回	授業計画 及び 学習の内容
1	洋裁道具の説明 針の持ち方 (しつけ・まつり・かがり練習) ミシン講習 (ミシン練習)
2	基本スカート 〈パターン・ソーイング〉
3	スカート原型 ダーツ移動 スカート応用パターン 各自スカートパターン
4	カッティング フィッティング ソーイング 等
5	〈部分縫い〉
6	パイピング 袋縫い ダーツの縫い方と始末 ファスナー明き
7	スナップ付け 縫い代始末 裾始末 鉤(かぎ)ホック付け など
8	
9	基本ブラウス 〈パターン・ソーイング〉
10	上身頃原型 袖原型 ダーツ移動 衿・袖付きブラウスパターン 各自ブラウスパターン
11	カッティング フィッティング ソーイング 等
12	〈部分縫い〉
13	フリル付け 見返し明き 袖口一枚明き ボタン付け など
14	
15	

成績評価の方法
・提出課題→パターン知識 作品出来栄え 部分縫い出来栄えの評価 期日厳守 出席状況
・テスト→実寸パターン作成技術 部分縫い作成技術

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)
学校法人 東京田中千代服飾専門学校 4年(副担任) (株)NICOLE 6年 婦人服パタンナー経験あり
(株)ジーユー 5年7か月 (株) ハニーズ 3年4か月 販売員経験あり

授業初日持ち物 A4ファイル 部分縫いテキスト 筆記用具 洋裁道具 ルーラー	学校で準備する教材など
---	-------------

配付資料	プリント配布
------	--------

渋谷ファッション&アート専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	学年	学期
服飾専門課程	ファッション総合科	2026年度	1年	後期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	単位
必修	服飾造形 I	講義 実習 実技	平良 恵 児玉 政子	4

授業の到達目標 (目標とする検定)	基本的理論の理解、基本的技術の習得を目標とする
----------------------	-------------------------

授業の内容	田中千代の服飾の基本となる授業。 基礎に続き基礎力を充実させ、作品の完成度を高める。パンツ・テーラードジャケット(裏付き)を縫う。 研究作品として、資料から各自のデザインを考え デザインにあったシルエットやディティールを正確再現できるように素材選び、パターン作成、縫製をする。
-------	---

回	授業計画 及び 学習の内容
1	裏付きセットアップジャケット
2	〈パターン・ソーイング〉
3	ジャケットについて ゆとりの入れ方 テーラードカラー 袖の目の描き方 二枚袖
4	ジャケット応用パターン 各自応用パターン カッティング フィッティング ソーイング
5	〈部分縫い〉
6	切り込みポケット各種 袖明き見せ 裾始末
7	コンシールファスナー付け ベント など (作品の一部で評価する場合あり)
8	
9	
10	
11	
12	パンツ 〈パターン・ソーイング〉
13	応用パターン 各自応用パターン カッティング フィッティング ソーイング
14	〈部分縫い〉
15	シームポケット クレセントポケット パンツ前明きファスナー

成績評価の方法
・提出課題→パターン知識 作品出来栄え 部分縫い出来栄えの評価 期日厳守 出席状況
・テスト→実寸パターン作成技術 部分縫い作成技術

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)
学校法人 東京田中千代服飾専門学校 4年(副担任) (株)NICOLE 6年 婦人服パタンナー経験あり (株)ジーユー 5年7か月 (株) ハニーズ 3年4か月 販売員経験あり

授業初日持ち物	学校で準備する教材など
前期同様 必要なもの全て	

配付資料	プリント配布
------	--------

渋谷ファッション & アート専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	学年	学期
服飾専門課程	ファッション総合科	2026年度	1年	前期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	単位
必修	デザイン画・スタイル画基礎	実習 実技	河村 秀子	2
授業の到達目標 (目標とする検定)		・人体と衣服の関係を理解し、洋服設計としてのデザイン画、製品図の基礎習得。		

授業の内容	・人体デッサン→デザイン画→製品図(平絵前後)の描き方を順に学ぶ。 ・鉛筆デッサン、ペン入れ、色鉛筆、マーカー、多様な画材を使用して着装表現の基礎を習得する。
-------	--

回	授業計画 及び 学習の内容		
1	・人体ポーズ-1 正面 体、顔(正面、横)		鉛筆
2	・人体ポーズ-2 重心移動 体、手・靴		鉛筆
3	・着装表現 シルエットを意識して描く① 20S(ストレート)デザイン画		鉛筆+ペン
4	・着装表現 シルエットを意識して描く② 50S(フィット&ボリューム/フレアー)デザイン画		鉛筆+ペン+色鉛筆
5	50S(フィット&ボリューム/フレアー)デザイン画+製品図	※デニムで描く	鉛筆+ペン+色鉛筆
6	・着装表現 シルエットを意識して描く③ 60~70S(リキッドA)デザイン画+製品図	レディスで描く	↓
7	60~70S(パンツ)デザイン画+製品図	メンズで描く	↓
8	・着装表現 シルエットを意識して描く④ 80~2000S(Y、ビッグ)デザイン画+製品図	※メンズ希望者はここからメンズ	↓
9		※マーカーで描く演習スタート	鉛筆+ペン+マーカー
10	・ディテール①(ネックライン、袖バリエーション) ブラウス製品図		↓
11	・ディテール②(装飾ディテール、関材) ディテール 別製品図		↓
12	・素材表現① 透け感/レース デザイン画+製品図		↓
13	・素材表現② マット&光沢 デザイン画+製品図		↓
14	『全国服飾専門学校デザイン画コンテスト』作品作成 夏休み課題 休み明け提出		
15			

成績評価の方法
授業への取り組み方、作品提出

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)
通販企画、繊維商社内商品企画/サンプル作成、トレンド情報誌企画/イラスト/作成全般など

授業初日持ち物	学校で準備する教材など
鉛筆、消しゴム、色鉛筆、スケッチブック	A4クリアファイルポケット
配付資料	

渋谷ファッション&アート専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	学年	学期
服飾専門課程	ファッション総合科	2026年度	1年	前期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	単位
必修	PC基礎	実習、実技	佐藤 崇	2

授業の到達目標	マイクロソフトのWord・Excel・PowerPoint操作基礎の習得。 オンラインのビジュアルツールキットCanva(キャンバ)の理解
---------	--

授業の内容	PC操作の基礎から Word・Excelを使った書類、グラフ、表計算などの作成。 PowerPointを使ってプレゼンテーション用のスライド作成基礎。 オンラインのビジュアルツールキットCanva(キャンバ)を使用し、「構成力・世界観・視覚的伝達力」を育てる。
-------	--

回	授業計画 及び 学習の内容
1	PC操作の基礎
2	Wordとは？書類作成(文字入力、書式、配列)書類作成(図形、画像)
3	Excelとは？表計算の基礎
4	Excel 関数 基本(見積書の作成)
5	PowerPoint とは？スライド作成(編集、レイアウト)
6	スライド作成(図形、文字入力)
7	スライド作成(図形、文字入力、動画挿入)
8	Canvaについて (レイアウト基礎、配色バランス、文字組み・フォント選択、SNS広告デザイン、簡易プレゼン資料の構成)
9	SNS広告デザイン(ブランドキャンペーン)
10	LOOKBOOK/EC商品ページ制作
11	ショップPOP・DM制作
12	ブランド世界観構築(ムードボード)
13	プレゼン資料(企画書)作成
14	SNS運用基礎(投稿テンプレのシリーズ化)
15	まとめ

成績評価の方法
授業内容の習得度の確認。(ペーパーテスト、実地見学のレポート、等。)
出席状況、授業態度、提出物

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)
杉本ちゆきデザイン事務所デザイナーアシスタント経験後、OEM企画会社に入社。新規ブランド立上げの際にブランドロゴ制作を担当。 その後Dicekisプレスルームにてプレス、E-コマース、撮影、イベントブース設営・物販などを務める

授業初日持ち物 筆記用具	学校で準備する教材など プロジェクター
-----------------	------------------------

配付資料 世界一やさしい エクセル ワード パワーポイント 2024 (テキスト)
--

渋谷ファッション & アート専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	学年	学期
服飾専門課程	ファッション総合科	2026年度	1年	前期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	単位
必修	SNS基礎	実習、実技	佐藤 崇／オムニバス形式	1

授業の到達目標	アイテムをより良く見せる手法とそれを活かした情報発信をSNSで行う。基礎の習得。
---------	--

授業の内容	SNSを活用した情報発信の重要性や活用の仕方などを理解し、カメラワーク学びながら効果的なSNSの活用基礎を習得する。
-------	--

回	授業計画 及び 学習の内容
1	SNSの役割と影響(SNSが社会・ファッション業界で果たす役割、個人ブランディングの重要性)
2	好きなファッションブランドのSNSを1つ分析
3	主要SNSの特徴(Instagram、TikTok、YouTube、X)
4	各SNSのアルゴリズムの違い、どのSNSが何に強いのか
5	SNSマーケティングの基本
6	「自分のブランド設定」を作る
7	スマホカメラ基礎(構図(3分割構図)、明るさ、背景)
8	↓
9	カメラワーク物撮り(モチーフを使用し、イメージフォトを作成)
10	↓
11	↓
12	ファッション撮影の基礎
13	↓
14	↓
15	まとめ

成績評価の方法
授業内容の習得度の確認。
出席状況、授業態度、カメラワーク作品評価

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)
杉本ちゆきデザイン事務所デザイナーアシスタント経験後、OEM企画会社に入社。新規ブランド立上げの際にブランドロゴ制作を担当。その後Dicekisプレスルームにてプレス、E-コマース、撮影、イベントブース設営・物販などを務める

授業初日持ち物 筆記用具	学校で準備する教材など プロジェクター
-----------------	------------------------

配付資料

渋谷ファッション & アート専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	学年	学期
服飾専門課程	ファッション総合科	2026年度	1年	前期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	単位
必修	色彩構成	講義 実習	大串由美子	2

授業の到達目標 (目標とする検定)	・ファッションビジネスに不可欠な色彩の基本知識を習得する。 ・カラーワーク(演習・課題)によって、色彩表現力・コーディネート力の向上を目指す。 ・ファッション色彩能力検定3級の取得も目指す。
----------------------	---

授業の内容	・ファッション色彩[I]の内容に基づき、ファッションビジネスで色彩を活用するための基本を学ぶ。 → 色彩のはたらきや役割、色の成り立ち、カラーシステム、カラーイメージ、カラーコーディネート(配色)等 ・理論を学ぶだけでなく、カラーワーク(演習・課題)を毎回行い、知識の定着と実践力の向上を図る。 → 演習: 配色カードや絵の具を用いた基本のカラーワーク → 課題: 色相環コラージュ作成、カラー分析体験(予定) ・ファッション色彩能力検定試験3級取得を目指した検定対策も行う。
-------	---

回	授業計画 及び 学習の内容	
1	色彩のはたらき	オリエンテーション / 生活における色彩のはたらき / ファッションにおける色彩の役割 * 演習: トーンマップ
2	色彩体系 ①	有彩色と無彩色 / 色の三属性 * 演習: 色相・明度・彩度の分類
3	色彩体系 ②	ヒュー&トーンシステム(PCCS) / 純色・清色・濁色 ※課題: トーンのコラージュ(雑誌・広告などを利用)
4	色彩理論_基礎 ①	色の成り立ち / 光と色 / 視覚と色 ※課題: 色相環のコラージュ雑誌・広告などを利用)
5	色彩理論_基礎 ②	三原色と混色 * 演習: 絵の具を用いた混色(色相・トーン・三原色)
6	色彩理論_基礎 ③	色の見え(対比・補色残像・面積効果・同化など) * 演習: 対比、補色残像
7	色彩理論_基礎 ④	色の感情効果 * 演習: 色相・明度・彩度による感情効果
8	色彩の技術 ①	配色の基礎 * 演習: 色相を基準にした配色・トーンを基準にした配色
9	色彩の技術 ②	色彩構成 * 演習: ベースカラーとアソートカラー、グラデーション
10	色彩の技術 ③	色彩構成 * 演習: アクセント、セパレーション
11	定期試験	ペーパーテスト
12	ファッション産業と色彩	ファッション産業における色彩の役割 / コーディネーションと色彩 * 演習: コーディネートの色彩計画
13	まとめ(課題)	カラー分析体験(カラーイメージ・感情効果・配色などの活用事例)
14	検定対策 ①	総復習 & ポイントまとめ / 対策問題&解説
15	検定対策 ②	総復習 & ポイントまとめ / 対策問題&解説

成績評価の方法	出席(出席状況・態度および演習・課題への取り組み) 定期試験(ペーパーテスト)、演習(提出状況)、課題(提出状況・完成度)
---------	---

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)	化粧品会社におけるカラーリスト(化粧品の調色・商品企画・カラーリストの育成等を担当) 色彩活用研究所株式会社および一般社団法人日本カラーコーディネーター協会において、各種講座・セミナー・カラーコンサルティング等を担当 → 大学・専門学校等での色彩講座(色彩基礎・検定対策・セミナー等)、企業研修(パーソナルカラー・インテリアカラー・プレゼンカラー等)、カラーコンサルティング(パーソナルカラー・商品・建築)、百貨店等におけるパーソナルカラー診断イベント 等
----------------------	---

授業初日持ち物	学校で準備する教材など
・ファッション色彩[I] ・ファッション色彩能力検定試験 3級問題集 ・新配色カード199a ・新配色カード199用演習台紙 ・はさみ(カッター不可) ・筆記用具 ・のり(貼ってはがせるものが望ましい)	・新配色カード199a(貸出用) ・ケント紙: 2枚 → 5回目に使用予定(絵の具を用いた混色) ・絵の具 → 5回目に使用予定(絵の具を用いた混色) ※上記以外に必要ながあれば追ってお願いします。

配付資料	・プリント(演習・課題)
------	--

渋谷ファッション&アート専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	学年	学期
服飾専門課程	ファッション総合科	2026年度	1年	後期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	単位
必修	パーソナルカラー	講義 演習 実習	大串由美子	1

授業の到達目標 (目標とする検定)	・ パーソナルカラー(色素傾向に基づく似合う色)の内容を知る。 ・ パーソナルカラーを活用した「自分ブランディング」を体験し、パーソナルカラーの活用方法を知る。 ・ 色彩活用パーソナルカラー検定3級の取得を目指す。
----------------------	---

授業の内容	・ 色彩活用パーソナルカラー検定3級の内容に基づき、ファッション業界で活用できる「パーソナルカラー」について学ぶ。 → 似合う色の考え方、4タイプのカラーパレット、似合う色の基準となる色素、似合う色の取り入れ方 等 ・ 配色カードを使った演習(4タイプカラーパレット)によって理解を深める。 ・ 実習(色素確認・ドレーピングによる似合う色診断)を通して、自分のパーソナルカラー(似合う色)を知る。 ・ 課題(4タイプのコラージュ・実習シート・自分ブランディング提案)を通して、パーソナルカラーの活用を考える。 ・ 色彩活用パーソナルカラー3級の取得を目指した検定対策も行う。
-------	---

回	授業計画 及び 学習の内容
1	オリエンテーション / 色彩活用としてのパーソナルカラー(似合う色の考え方・P.Iと自分ブランディング) / デモンストレーション
2	パーソナルカラーの色分類① 4タイプのカラーパレットの特徴 ※演習:カラーパレット作成
3	パーソナルカラーの色分類② 4タイプのカラーパレットのイメージ ※課題:4タイプのコラージュ(雑誌等を使用)
4	似合う色と色素傾向① 4タイプの典型的な色素傾向
5	似合う色と色素傾向② 色素確認(グループワーク) ※ 課題:実習シート(色素確認&ドレーピング結果をまとめる)
6	ドレーピング実習① グループドレーピング(似合う色の診断)
7	ドレーピング実習② グループドレーピング(似合う色の診断)
8	似合う色の取り入れ方 ドレーピング結果確認 / タイプ別の似合う色の傾向 / 取り入れ方のポイント
9	自分ブランディング提案 ※課題:自分ブランディング提案(プランニングシート・コラージュ)
10	検定対策① 序章・1章
11	検定対策② 2章
12	検定対策③ 3章・4章
13	検定対策④ 5章・6章
14	定期試験 ペーパーテスト
15	直前対策&総まとめ

成績評価の方法
出席(出席状況・態度および演習・課題への取り組み姿勢) 定期試験(ペーパーテスト)、演習(提出状況)、課題(提出状況・完成度)

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)
化粧品会社におけるカラーリスト(化粧品の調色・商品企画・カラーリストの育成等を担当) 色彩活用研究所株式会社および一般社団法人日本カラーコーディネーター協会において、各種講座・セミナー・カラーコンサルティング等を担当 → 大学・専門学校等での色彩講座(色彩基礎・検定対策・セミナー等)、企業研修(パーソナルカラー・インテリアカラー・プレゼンカラー等)、カラーコンサルティング(パーソナルカラー・商品・建築)、百貨店等におけるパーソナルカラー診断イベント 等

授業初日持ち物 ・ 色彩活用パーソナルカラー検定 公式テキスト3級 ・ 色彩活用パーソナルカラー検定 3級公式問題集 ・ 新配色カード199a ・ トーンマップ(色彩構成で作成したもの) ・ はさみ(カッター不可) ・ 筆記用具 ・ のり(貼ってはがせるものが望ましい)	学校で準備する教材など ・ 新配色カード199a(貸出用) ・ 姿見(ドレーピング実習時に使用) ・ 過去問題(2回分) ・ パンフレ(オンライン教材) ※上記以外に必要ながあれば追ってお願いします。
配付資料 ・ プリント(演習・実習シート・課題)	

渋谷ファッション＆アート専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	学年	学期
服飾専門課程	ファッション総合科	2026年度	1年	前期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	単位
必修	素材学Ⅰ	実習 実技	島田朋子	2

授業の到達目標	素材の基本知識を習得し、作品製作に活かす。また仕事上で必要なファッション用語を知る(前後期) TES(繊維製品品質管理士)はかなり難しい資格なので、意義を説明し、希望者にはレクチャーします。
---------	---

授業の内容	ファッション業界の流れを知る。 素材の基礎知識を学ぶ。 簡単に出来る素材加工実習をして、素材バリエーションを広げる。
-------	--

回	授業計画 及び 学習の内容
1	ファッション業界の流れとテキスタイル……ファッション業界の大きな流れを知テキスタイルを学ぶ意味を知る
2	テキスタイルの種類と繊維の名前……素材をカット＆添付しながら、テキスタイルとは何か？を学んでいく
3	トレンドとは、2027S/Sのトレンドを読んでいく……1回目に説明したファッション業界の流れを復習しながらトレンドとファッション用語を理解する
4	繊維の名前の小テスト、生地が出来るまで
5	織物と編物……織物と編物の基本を知り、三原組織を紙で織ってみる
6	天然繊維について①(綿)(麻)
7	天然繊維について②(羊毛)(獣毛)(絹)
8	天然繊維について③(小テスト)、化学繊維について①(再生、半合成繊維)
9	化学繊維について②(合成繊維)
10	化学繊維について③(小テスト、染色について)
11	ステンシル加工……プリントの基本をステンシル加工で学ぶ(※材料購入あり)
12	化学繊維について④(小テスト・デニムについて)
13	デニム加工(脱色とサンディング)(※材料購入あり)
14	生地とアイテム……アイテムに合わせて生地を選んで、アイテムの構成をする。
15	期末テスト(テキスタイルの種類、繊維の名前、天然繊維、化学繊維、織物と編物について)

成績評価の方法
受講姿勢、提出物、筆記試験

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)
繊維製品品質管理士、品質管理、テキスタイル企画 テキスタイルデザイナー、OEM商品企画 としてコンバーター、OEM会社にて企画、生産に従事

授業初日持ち物 A4ファイル(20ポケット以上) 筆記用具 糊 ハサミ	学校で準備する教材など キッチンハイター1本・カルキ抜き 紙やすり(#80 #150 3人で1枚ずつ) ステンシル用顔料(白、黒、赤、青、黄) A4クリアファイル2人で1枚
---	--

配付資料 授業ごとにプリント資料を配布

渋谷ファッション＆アート専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	学年	学期
服飾専門課程	ファッション総合科	2026年度	1年	後期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	単位
必修	素材学Ⅱ	実習 実技	島田朋子	2

授業の到達目標 (目標とする検定)	素材の基本知識を習得し、作品製作に活かす。また仕事上で必要なファッション用語を知る(前後期) TES(繊維製品品質管理士)はかなり難しい資格なので、意義を説明し、希望者にはレクチャーします。
----------------------	--

授業の内容	生地の呼称、その意味を実際の生地を添付しながら学んでいく。 店頭リサーチを通じて、学んでいる知識が実際に活かせることを実感し、学ぶ意識を高める。 品質についての知識を学び、商品知識を深める。
-------	---

回	授業計画 及び 学習の内容
1	2027-28AWテキスタイルトレンドについて、店頭リサーチについて・・・秋冬の素材を知るためにどのようなリサーチをするか理解する
2	生地の名前①、店頭リサーチのターゲット設定・・・綿のベーシック生地をカットし貼りながら説明する。リサーチのターゲットを2つ設定する。
3	生地の名前②、店頭リサーチ資料作成・・・麻、絹のベーシック生地をカットし貼りながら説明する。リサーチデータをまとめていく。
4	生地の名前③、店頭リサーチ資料作成・・・ウールのベーシック素材をカットし貼りながら説明する。リサーチデータをまとめていく。
5	生地の名前④、店頭リサーチ資料作成・・・化学繊維のベーシック素材をカットし貼りながら説明する。リサーチデータをまとめていく。
6	生地の名前⑤、店頭リサーチ資料作成・・・化学繊維のベーシック素材をカットし貼りながら説明する。リサーチデータをまとめていく。
7	生地の名前⑥14、店頭リサーチ資料作成・・・カットソーのベーシック素材をカットし貼りながら説明する。リサーチデータをまとめていく。
8	リサーチ発表の準備
9	リサーチプレゼン
10	品質について①・・・家庭用品品質表示法、原産国表示についての法律
11	品質について②・・・洗濯絵表示の種類と意味、品質試験について
12	品質について③・・・品質試験について
13	生地とアイテム①・・・ターゲットとテイストを分析し、素材とアイテムの構成を作る。
14	生地とアイテム②・・・アイテムごとに品質表示を考えていく。
15	期末テスト(品質について、生地の名前)

成績評価の方法
受講姿勢、提出物、筆記試験

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)
繊維製品品質管理士、品質管理、テキスタイル企画 テキスタイルデザイナー、OEM商品企画 としてコンバーター、OEM会社にて企画、生産に従事

授業初日持ち物 A4ファイル(20ポケット以上) 筆記用具 糊 ハサミ	学校で準備する教材など
配付資料 授業ごとにプリント資料を配布	

渋谷ファッション & アート専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	学年	学期
服飾専門課程	ファッション総合科	2026年度	1年	前期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	単位
必修	ファッションビジネス概論	講義	佐藤 崇	2

授業の到達目標	ファッションビジネス能力検定3級取得
---------	--------------------

授業の内容	ファッションビジネスがどのように成り立っているかを理解する。 ファッション産業の構造や内容を知り、携わる上で必要な基礎知識、用語を習得する。
-------	---

回	授業計画 及び 学習の内容
1	ファッションビジネスの定義
2	繊維ファッション産業の流れ
3	消費者行動とファッション表現
4	ライフスタイルとファッション
5	お客様の購買行動
6	ファッション産業の概要
7	ファッション小売産業の概要
8	ファッションマーケティングの基礎知識
9	ファッションマーケティング分類、調査
10	マーチャンダイジング基礎知識
11	商品企画・生産・販売の流れ、ファッション流通
12	社会に関する基礎知識・計数知識
13	↓
14	模擬試験
15	まとめ

成績評価の方法
授業内容の習得度の確認。(ペーパーテスト、実地見学のレポート、等。)
出席状況、模擬試験、授業中に実施する小テストの結果による総合的評価

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)
杉本ちゆきデザイン事務所デザイナーアシスタント経験後、OEM企画会社に入社。新規ブランド立上げの際にブランドロゴ制作を担当。その後Dicekisプレスルームにてプレス、E-コマース、撮影、イベントブース設営・物販などを務める

授業初日持ち物 筆記用具、テキスト	学校で準備する教材など プロジェクター
----------------------	------------------------

配付資料

渋谷ファッション & アート専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	学年	学期
服飾専門課程	ファッション総合科	2026年度	1年	前期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	単位
必修	コーディネートワークⅠ	実習・実技	伊藤 美散	1

授業の到達目標	基本を学び、コーディネートの幅を広げることを目指す。
---------	----------------------------

授業の内容	コーディネートの基本となるさまざまなイメージの理解やテイスト、TPOにおけるコーディネート提案力を養う。
-------	--

回	授業計画 及び 学習の内容
1	オリエンテーション・自己紹介
2	カラージュ制作
3	ファッションイメージ8分類について
4	マップ制作
5	〃
6	〃
7	〃
8	テイスト分類解説、マップ制作
9	〃
10	ジャケットのイメージマップ制作
11	〃
12	オケーション解説、マップ制作
13	マップ制作
14	〃
15	〃

成績評価の方法
授業態度、出欠席、課題提出状況による総合評価

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)
他の服飾専門学校での教員勤務及び服飾雑貨メーカーで営業主任として勤務

授業初日持ち物 筆記用具	学校で準備する教材など
-----------------	-------------

配付資料

渋谷ファッション & アート専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	学年	学期
服飾専門課程	ファッション総合科	2026年度	1年	前期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	単位
必修	ファッションマーケティングⅠ	実習、実技	佐藤 崇／オムニバス形式	1

授業の到達目標	ファッション業界におけるマーケティングの基礎を理解し、市場動向や消費者ニーズを踏まえた商品企画およびブランド戦略を考える力を養うことを目的とする。
---------	---

授業の内容	ファッションビジネスにおける市場や消費者の動向を理解し、ブランドや商品の価値を効果的に企画・提案できる基礎的なマーケティング能力を身につけることを目的とする。
-------	---

回	授業計画 及び 学習の内容	
1	ファッションマーケティングとは？(マーケティングの基本概念、ファッションビジネスの構造)	
2	ファッション市場の理解(市場規模、トレンドの変化)	
3	ターゲット分析(年齢、ライフスタイル、価格帯)	
4	ターゲットペルソナ作成、発表	
5	ブランド分析(ブランド基本情報、商品、ターゲット分析)	
6	↓	
7	トレンド分析(ショップリサーチ)	・現在のファッショントレンドを理解する
8	集計、まとめ	・ブランドごとの特徴を知る
9	発表	・売れている商品の傾向を分析する
10	トレンド分析(ストリートリサーチ)	渋谷・原宿エリア
11	↓	・リアルなファッショントレンドを把握する
12		・ターゲット層の理解を深める
13	集計、まとめ	・トレンドとブランドの関係を考える
14	発表	
15	総まとめ	

成績評価の方法
ショップリサーチ、ストリートリサーチ、最終分析・発表による評価
出席状況、授業中の総合的評価

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)
杉本ちゆきデザイン事務所デザイナーアシスタント経験後、OEM企画会社に入社。新規ブランド立上げの際にブランドロゴ制作を担当。その後Dicckisプレスルームにてプレス、E-コマース、撮影、イベントブース設営・物販などを務める

授業初日持ち物 筆記用具	学校で準備する教材など プロジェクター
-----------------	------------------------

配付資料	プリント配布
------	--------

渋谷ファッション & アート専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	学年	学期
服飾専門課程	ファッション総合科	2026年度	1年	前期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	単位
必修	ファッションゼミナールⅠ	実習、実技	佐藤 崇／オムニバス形式	1
授業の到達目標	SDGSサスティナブルファッションに特化した活動し理解する。			
授業の内容	ファッションと環境の現状を知り、今後のファッションの在り方、サスティナブルファッションとは何かを理解し、今後どのようにして服に付加価値を付けていけるかを考える。 ホテルall day place shibuyaと連携し、着なくなった古着を再利用しPOP UPイベントや学園祭での提供を行う			
回	授業計画 及び 学習の内容			
1	ファッションゼミナール活動内容の説明			
2	環境とファッションSDGSについて（ウラハラフェス フリーマーケット出店）			
3	↓			
4	古着の再利用について			
5	↓			
6	古着回収（ホテルall day place shibuya回収ボックスにて）第一弾			
7	回収した古着を選別する			
8	↓			
9	選別した物を洗濯			
10	テイスト分類ごとに分ける			
11	↓			
12	古着回収（ホテルall day place shibuya回収ボックスにて）第二弾			
13	回収した古着を選別、洗濯する			
14	↓			
15	↓			
成績評価の方法				
授業内容の習得度の確認。（ペーパーテスト、実地見学のレポート、等。）				
出席状況、授業中に実施するイベント・制作物の総合的評価				
教員の実務経験（企業や団体での実務経験）				
杉本ちゆきデザイン事務所デザイナーアシスタント経験後、OEM企画会社に入社。新規ブランド立上げの際にブランドロゴ制作を担当。その後Dicekisプレスルームにてプレス、Eコマース、撮影、イベントブース設営・物販などを務める				
授業初日持ち物 筆記用具		学校で準備する教材など プロジェクター		
配付資料 プリント配布				

渋谷ファッション＆アート専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	学年	学期
服飾専門課程	ファッション総合科	2026年度	1年	前期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	単位
必修	ハンドメイドⅠ	実習 実技	薄木 爽大	1

授業の到達目標 (目標とする検定)	基本的理論の理解、技術の習得を目標とする。学園祭で作品を販売をする。
----------------------	------------------------------------

授業の内容	洋服だけではなく、雑貨小物も作れるように基本から応用作品までを製作し、トータルファッションの一部に出来るようにする。
-------	--

回	授業計画 及び 学習の内容	
1	授業内容について	ピンクッション製作
2	ピンクッション製作	
3	↓	
4	↓	ピンクッション提出
5	巾着袋・ナップサック製作	
6	↓	巾着袋・ナップサック提出
7	ファスナー付きポーチ(裏地付き)製作	
8	↓	
9	↓	ファスナー付きポーチ(裏地付き)提出
10	トートバッグ製作	
11	↓	トートバッグ提出
12	学園祭で販売する作品を製作	
13	↓	
14	↓	
15	↓	作品提出

成績評価の方法
作品 実習態度 出席状況

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)

授業初日持ち物	学校で準備する教材など
筆記用具、ルーラー一式、洋裁道具	特になし

配付資料	プリント配布
------	--------

渋谷ファッション＆アート専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	学年	学期
服飾専門課程	ファッション総合科	2026年度	1年	後期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	単位
必修	ビジネスマナー	実習・実技	神戸昌子／オムニバス形式	1

授業の到達目標 (目標とする検定)	就職活動に向けた準備を行い、就職試験に必要な心構え、知識・作法を習得する。
----------------------	---------------------------------------

授業の内容	就職活動の概要、業界、仕事の知識を学び、就職活動に向けての心構え、準備を行う。 自己分析や企業研究に重点を置き、自分の志望や強み、PRポイントを明確にして 言葉で表現できるようにする。 また、履歴書・エントリーシートの書き方、身だしなみ、面接のマナーなどのノウハウを オムニバス形式で企業担当者や外部の講師を招き、演習なども交えた実践型で学び、習得する。
-------	---

回	授業計画 及び 学習の内容
1	ビジネスマナー授業の概要 / 就職活動に向けての心構えと準備について
2	ファッション業界の就職戦線情報 / 就職活動のスケジュール・就職活動の概要、採用状況・面接等の選考方法傾向 など
3	ファッション業界・職種・仕事を知る / 業界の構造・業界トレンド・職種と仕事内容・求められるスキル など
4	自己理解ワーク① / 自分の価値観、将来のキャリアプランを明らかにしてみる。
5	自己理解ワーク② / 自分の志望、強みなどを探る・キャリアプランシートを作ってみる
6	自己分析ワーク③ / 自分の志望、強みなどをアウトプットしてみる
7	企業研究① / 企業研究の必要性・企業研究の方法・インターンシップ など
8	企業研究② / 企業が求める人材像・企業採用担当者の視点、エントリーシートや面接で何を見るか
9	履歴書・エントリーシート① / 履歴書・エントリーシートとは、履歴書・エントリーシートの書き方
10	履歴書・エントリーシート② / 履歴書・エントリーシートを書く
11	ビジネスマナー / 一般常識、言葉遣い、ビジネスマナー・人に与える印象、身だしなみ など
12	面接演習① / 面接の基本レクチャー、模擬面接(個人)
13	面接演習② / 模擬面接(個人)
14	面接演習③ / 模擬面接(グループ)
15	就職活動のポイント総括 / 就職活動・履歴書・エントリーシート・面接のポイント確認

成績評価の方法
授業の出席2/3以上、課題の提出、授業の参加態度、提出課題内容による習得度

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)
百貨店において営業部門長として運営、人材マネジメント、人材開発、採用面接等担う。 国家資格キャリアコンサルタント

授業初日持ち物	学校で準備する教材など
筆記用具	A4クリアファイル(40ポケット)

配付資料

渋谷ファッション＆アート専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	学年	学期
服飾専門課程	ファッション総合科	2026年度	1年・2年	前期・後期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	単位
必修	ファッション関連講座	実習、実技	佐藤 崇／オムニバス形式	1

授業の到達目標	様々な文化・芸術・商業イベントを体験し、自身の感性を高めることができる。 フィールドワークを通じて得た学びを今後の制作活動や企画提案に活かすことができる。
---------	--

授業の内容	学外活動を通じて、ファッション・デザイン・アート・エンターテインメントに関する知見を深める。展示会やイベント、観劇、ワークショップへの参加を通じて、企画力・観察力・表現力を養う
-------	--

回	授業計画 及び 学習の内容
1	開催されるファッションイベント・展示 全8回以上
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	↓
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	

成績評価の方法
授業内容の習得度の確認。(ペーパーテスト、実地見学のレポート、等。)
出席状況、授業中に実施するイベント・制作物の総合的評価

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)
杉本ちゆきデザイン事務所デザイナーアシスタント経験後、OEM企画会社に入社。新規ブランド立上げの際にブランドロゴ制作を担当。その後Dicekisプレスルームにてプレス、Eコマース、撮影、イベントブース設営・物販などを務める

授業初日持ち物 筆記用具	学校で準備する教材など プロジェクター
-----------------	------------------------

配付資料	プリント配布
------	--------

渋谷ファッション & アート専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	学年	学期
服飾専門課程	ファッション総合科	2026年度	1年	後期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	単位
選択	ドレーピングⅠ	講義 実習 実技	三科 三四子	2

授業の到達目標 (目標とする検定)	ドレーピング(立体的裁断)の基礎を習得し、繰り返し数をこなし慣れさせることを目標とする。
----------------------	--

授業の内容	平面構成によるパターン展開との関連性を理解し、平面・立体いずれも理論上同一であることを認識する。
-------	--

回	授業計画 及び 学習の内容	
1	ドレーピングについての説明 天竺(シーチング)の地直し 説明と実習	
2	ストレートスカート(2本ダーツ)	トワフル組み立て 説明と実習
3		パターンのトレース方法 説明と実習
4	↓	
5	Aラインスカート(1本ダーツ)	トワフル組み立て 説明と実習
6	↓	パターンのトレース方法 説明と実習
7	フレアスカート(ダーツなし)	トワフル組み立て 説明と実習
8	↓	
9	上身頃①(原型 サイドダーツ・ウエストダーツ)	トワフル組み立て 説明と実習
10	↓	トワフル修正
11	↓	パターンのトレース 実習
12	上身頃②(パネル原型)	トワフル組み立て 説明と実習
13	↓	トワフル修正
14	↓	パターンのトレース 実習
15	まとめ	

成績評価の方法
組み立ての完成度、平面パターンの理解度、実習意欲、出席状況、提出物

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)
杉野服飾大学特任講師として勤務/株式会社セラビ・チーフパターンメーカーとして勤務/グンゼ産業株式会社・パターンメーカーとして勤務/赤川英株式会社・生産管理部勤務/おむすび権米衛・商品部メニュー開発勤務/モデリスト

授業初日持ち物 A4ファイル、天竺(厚地)70cm、裁ちばさみ、シルクピン、ピンクッション、メジャー、ルーラー、筆記用具	学校で準備する教材など
---	-------------

配付資料 プリント(デザイン画)の配布

渋谷ファッション＆アート専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	学年	学期
服飾専門課程	ファッション総合科	2026年度	1年	後期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	単位
選択	マーケティング プランニング基礎	実習 実技	仲宗根珠子	2

授業の到達目標 (目標とする検定)	職業としてのファッションデザインの考え方を理解し、 コンセプトに基づいたフルアイテムのデザインができるようになること
----------------------	---

授業の内容	ひとつのブランドとしてすべてのアイテムをデザインするために必要な考え方を身につける。 ・季節感・色の組み合わせ・コンセプトに基づいたイメージ、テイスト それら全てが調和しているか、客観的にみてわかりやすいか。 コンセプトマップ作成後、ブランドポートフォリオ(7～10枚程度)の作成。
-------	--

回	授業計画 及び 学習の内容
1	素材の持つ季節感、テイストのジャンル分けの練習
2	服のデザインから伝わる季節感、テイストのジャンル分けの練習
3	与えられた設定に基づいてブランドを作ってみる； マップ用の資料を集める
4	引き続き資料集めと内容のブラッシュアップ、マップ作成
5	マップ完成、マップをもとに、ブランドコンセプトのプレゼン
6	自身のブランドを作ってみる； マップ作成のための資料集め
7	引き続き資料集めと内容のブラッシュアップ、マップ作成
8	自身のブランドのマップ完成
9	代表スタイリング3体提案、平絵(後ろ)も描く
10	代表スタイリングスタイル画の着彩、
11	アイテムごとにデザインを展開してブランドのアイテムのラインナップを考える
12	ラインナップされたアイテムの平絵を描く(前) A4用紙内でレイアウトすること
13	ポートフォリオ用のコンセプトシート、カラーサンプル、マテリアルサンプルなどをA4用紙にまとめる
14	ブランドプレゼン用のポートフォリオとしてブラッシュアップする
15	自作のポートフォリオのプレゼン、意見交換、提出

成績評価の方法
課題に対して取り組む姿勢、ポートフォリオの内容が客観的にわかりやすくまとまっているか

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)
アーティスト衣裳、CM衣裳のデザイン・制作。 アパレルメーカーにてレディース既製服のデザイン企画業務。

授業初日持ち物	学校で準備する教材など
筆記用具	マップ用紙、A4ファイル

配付資料
必要に応じてプリント配布します。

渋谷ファッション&アート専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	学年	学期
服飾専門課程	ファッション総合科	2026年度	1年	後期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	単位
選択	CAD基礎	実習 実技	平良 恵	2

授業の到達目標 (目標とする検定)	多くの企業で使用されている「東レ・クレアコンボⅡ」を使って実習しながらCADに慣れ、基本操作を習得する。
----------------------	--

授業の内容	CADを使ってどのような操作ができるかを知った上で、自分で操作することに慣れる。 最新機能の3DCADを使用し、企業での使用方法を最低限理解し、操作方法も経験する。 またパタンナーに求められる仕事の一連の流れを体験する事で CADでのパターン作成とパターン作成のみでは無く、その他必要な仕事の方法も練習する
-------	--

回	授業計画 及び 学習の内容
1	CADについて メニュー練習
2	シャツパターンメイキング練習 No.1
3	〃
4	縫い代付け No.1 (部分付け) <プリント配布のみ>
5	No.2 (シャツパターンに縫い代付け練習)
6	衿作成(4種作成) ロール フラット スタンド シャツカラー
7	〃
8	スカート作成
9	スカートフレアー展開 No.1
10	〃
11	スカートフレアー展開 No.2 → 3DCAD時 使用
12	〃
13	ダーツ移動A ・ ダーツ移動B
14	ダーツ移動C
15	マーキング練習

成績評価の方法
出席状況 提出課題 ファイル管理 CAD操作の理解度

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)
学校法人 東京田中千代服飾専門学校 4年(副担任) ㈱NICOLE 6年 婦人服パタンナー経験あり ㈱ジーユー 5年7か月 ㈱ ハニーズ 3年4か月 販売員経験あり

授業初日持ち物 筆記用具 A4クリアファイル(25ポケット以上 または増やせるもの) USB	学校で準備する教材など 特に無し
---	-------------------------

配付資料 プリント配布

渋谷ファッション & アート専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	学年	学期
服飾専門課程	ファッション総合科	2026年度	1年	後期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	単位
選択	服飾造形S I	実習 実技	矢嶋 久美子	2
授業の到達目標 (目標とする検定)	基本的理論の理解、基本的技術の習得を目標とする。 パターンメイキング検定3級の取得を目指す。			
授業の内容	田中千代の服飾の基本となる授業である。 基礎に続き基礎力を充実させ、作品の完成度を高める。 パターンメイキング検定3級の取得を目指した検定対策を行う。 研究作品として、テーマを決め各自デザインを考え、そのシルエットやデザインにあったパターンを描き、 素材を選び作製する			
回	授業計画 及び 学習の内容			
1	パターンメイキング検定 3級の対策			
2	筆記	平面パターン	ドレーピング	
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10	▼			
11	研究作品	オリジナル作品を作成		
12		<パターン・ソーイング> 各自パターン カッティング ソーイング		
13				
14				
15	▼			
成績評価の方法				
: 提出課題(パターン、作品、部分縫いなど)の評価 出席状況				
教員の実務経験(企業や団体での実務経験)				
授業初日持ち物		学校で準備する教材など		
配付資料 プリント配布				

渋谷ファッション & アート専門学校

開講課程	開講学科	コース	開講年度	学期
服飾専門課程	ファッション総合科	2026年度	1年	後期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	単位
選択	服飾雑貨企画基礎	実習 実技	三戸浩昭	1

授業の到達目標 (目標とする検定)	服飾雑貨の企画を基本から理解し、コンセプト立案、企画ボード作成、プレゼンテーションまで一貫した流れを身につける。
----------------------	--

授業の内容	服飾雑貨の基本アイテムを使い、企画立案した内容をビジュアルボードとして作成、そのボードを基に企画プレゼンテーションを3週1クールで行う。 その後、雑貨企画の基本を、コンセプト想起、商品企画、企画ボード作成、プレゼンテーションを行い雑貨企画を立案からプレゼンテーションまで総合的に学んで頂きます。
-------	--

回	授業計画 及び 学習の内容
1	服飾雑貨企画基礎 オリエンテーション
2	服飾雑貨企画基礎1-① バッグ企画コンセプト立案
3	服飾雑貨企画基礎1-② バッグ企画ボード作成 I
4	服飾雑貨企画基礎1-③ バッグ企画ボード作成 II
5	服飾雑貨企画基礎1-④ バッグ企画プレゼンテーション
6	服飾雑貨企画基礎2-① シューズ企画コンセプト立案
7	服飾雑貨企画基礎2-② シューズ企画ボード作成
8	服飾雑貨企画基礎2-③ シューズ企画プレゼンテーション
9	服飾雑貨企画基礎3-① アクセサリー、革小物企画コンセプト立案
10	服飾雑貨企画基礎3-② アクセサリー、革小物企画ボード作成 I
11	服飾雑貨企画基礎3-③ アクセサリー、革小物企画ボード作成 II
12	服飾雑貨企画基礎3-④ アクセサリー、革小物企画プレゼンテーション
13	服飾雑貨企画基礎4-① 皮革素材解説
14	服飾雑貨企画基礎5-① 雑貨素材解説
15	服飾雑貨企画 雑貨企画総評

成績評価の方法
授業態度、企画ボードの完成度、プレゼンテーションの完成度

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)
株式会社ファイブフォックス 服飾企画5年、服飾雑貨企画5年。(コムサデモード、ペイトンプレイス、バジーレ28等) 株式会社三陽商会 服飾雑貨企画20年(バーバリー ブルーレーベル、エポカ ウォモ、ポール・スチュアート、マッキントッシュ・ロンドン等)

授業初日持ち物	学校で準備する教材など
筆記用具 カッターナイフ、定規、両面テープ	プレゼンテーションボード、両面テープ

配付資料

渋谷ファッション&アート専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	学年	学期
服飾専門課程	ファッション総合科	2026年度	1年	後期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	単位
選択	デザイン画Ⅰ	実習 実技	河村 秀子	1

授業の到達目標 (目標とする検定)	「デザイン画基礎」から更に、素材、色、ディテールの各描き方、表現法の上達を目指す
----------------------	--

授業の内容	・重衣料、ニット、フォーマル(ドレス)に分けて学ぶ。演習の中で秋冬素材、装飾ディテールの表現方法習得。 ・ポートフォリオにまとめるデザイン画、製品図の表現/技術を磨く。
-------	---

回	授業計画 及び 学習の内容
1	【重衣料①】 テーラードジャケット セットアップで描く JK+SK JK+PT デザイン画+製品図 (ツイード/クラシック柄) point: テーラードジャケットを正確に描く シングル&ダブルフロント/テーラーカラーバリエ/ポケット/構造線
2	
3	
4	
5	【重衣料②】 コート、ブルゾン、ダウン等、コレクション写真使用 デザイン画+製品図 (ファンシー、キルト、ダウン、ファー、レザー) point: 多様なシルエット&素材の描き分け
6	
7	
8	
9	【KNIT/CUT】 トップス、カーディガン、その他バリエーション デザイン画+製品図 (ハイ、ミドル、ロー、手編み)※フード/リブなどネックバリエ point: ゲージ把握&アイテム描き分け
10	
11	
12	【フォーマルDRESS】 ドレス トワール写真使用/ディテールバリエーション デザイン画+製品図 (ドレープテクニック/刺繍/ビジュ/スパンコールなど) point: ゲージ把握&アイテム描き分け
13	
14	
15	

成績評価の方法
授業への取り組み方、作品提出

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)
通販企画、繊維商社内商品企画/サンプル作成、トレンド情報誌企画/イラスト/作成全般など

授業初日持ち物	学校で準備する教材など
色鉛筆・スケッチブック	

配付資料

渋谷ファッション & アート専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	学年	学期
服飾専門課程	ファッション総合科	2026年度	1年	後期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	単位
選択	デザインCG I	実習、実技	佐藤 崇	1

授業の到達目標	Adobe Photoshopを使用し、手描きのファッションデザイン画をデジタル化し、着彩やパターン表現によってバリエーション豊かなデザイン提案ができるようする。
---------	---

授業の内容	Adobe Photoshopを使用し、手描きのファッションデザイン画をデジタル化するとともに、着彩やパターン制作を通して表現の幅を広げることを目的とする。 ペンタブレットを用いた描画技術を習得し、質感や配色の工夫によりデザインの完成度を高める。 さらに、同一デザインに対して柄や色のバリエーション展開を行うことで、商品提案としての視点を養う。 最終的には複数のデザインバリエーションを制作し、意図を持った表現ができる力を身につける。
-------	--

回	授業計画 及び 学習の内容	
1	Photoshop基礎、基本操作	授業の流れ説明、Photoshopとは何か、画面の見方・基本ツール
2	基本操作練習	ファイルの開き方・保存、移動・拡大縮小、簡単な図形操作
3	レイヤーの理解	レイヤーとは何か、重なり仕組み、簡単な合成
4	選択ツール	範囲選択、切り抜き、簡単な画像加工
5	ブラシツール	ブラシの使い方、線を描く練習、マウス or ペンタブ導入
6	画像の取り込み	手描きデザインの読み込み、明るさ調整
7	トレース基礎	丁寧に描く練習
8	トレース完成	線の整理、簡単な修正
9	着彩、色を塗る	パケツツール、基本の塗り方
10	着彩練習	はみ出さない塗り方、レイヤー分け
11	簡単なパターン	柄とは何か、簡単な模様作成、パターンスタンプツール
12	デザイン画作成	
13		イメージマップ、スタイル画1体、バックスタイル、素材見本、背景
14		
15	まとめ、作品提出	

成績評価の方法
出席・授業態度、作業進行、課題評価、デザイン画総合的評価

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)
杉本ちゆきデザイン事務所デザイナーアシスタント経験後、OEM企画会社に入社。新規ブランド立上げの際にブランドロゴ制作を担当。 その後Dicekisプレスルームにてプレス、E-コマース、撮影、イベントブース設営・物販などを務める

授業初日持ち物 筆記用具	学校で準備する教材など プロジェクター
-----------------	------------------------

配付資料	プリント配布
------	--------

渋谷ファッション＆アート専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	学年	学期
服飾専門課程	ファッション総合科	2026年度	1年	後期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	単位
選択	ファッションビジネス企画Ⅰ	演習・実技	佐藤 崇	2

授業の到達目標	売れる商品企画、製作を含めてお客様のことを考えた品揃えをショップ運営を通して学ぶ。 また上代、下代を考えた商品企画、製作を意識することを目指す。
---------	---

授業の内容	学生ショップオープンに向けて、ブランド企画、商品企画・製作、価格設定などを行い、実店舗での販売活動を行う。またトレンドを意識した商品企画を行う。
-------	--

回	授業計画 及び 学習の内容
1	ブランド立案・コンセプト決定・イメージマップ制作
2	商品企画、製作
3	商品製作
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	▼
15	年間総括

成績評価の方法
授業態度、出欠席による評価

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)

授業初日持ち物 筆記用具、はさみ、のり	学校で準備する教材など
------------------------	-------------

配付資料

渋谷ファッション&アート専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	学年	学期
服飾専門課程	ファッション総合科	2026年度	1年	後期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	単位
選択	スタイル画Ⅰ	実習 実技	河村 秀子	1

授業の到達目標 (目標とする検定)	「デザイン画基礎」から更に、アイテム別の描き方、企画書作成までの理解と表現法身につける
----------------------	---

授業の内容	・FW素材ベースの重衣料～ニットの表現方法。デザイン画と製品図の違い、描き分け。 ・企画MAP作成。テーマ、コンセプト、ターゲット、オケーションを設定し、写真、スタイル画、製品図で完成する。
-------	--

回	授業計画 及び 学習の内容
1	【重衣料①】ジャケット セットアップで描く JK+SK JK+PT デザイン画+製品図 (ツイード/クラシック柄)
2	
3	
4	
5	【重衣料②】コート/ブルゾン デザイン画+製品図 (ファンシー、キルト、ダウン、ファー、レザー)
6	
7	【ニット】ゲージ別/手編み デザイン画+製品図
8	
9	【トータルスタイリング演習】FWトータル・スタイリング デザイン画+製品図
10	
11	【バイイングマップ/B4】コレクション写真使用 テーマ/コンセプト/マトリクス デザイン画+製品図
12	
13	
14	
15	

成績評価の方法
授業への取り組み方、作品提出

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)
通販企画、繊維商社内商品企画/サンプル作成、トレンド情報誌企画/イラスト/作成全般など

授業初日持ち物 色鉛筆・スケッチブック	学校で準備する教材など
------------------------	-------------

配付資料

渋谷ファッション & アート専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	学年	学期
服飾専門課程	ファッション総合科	2026年度	1年	後期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	単位
選択	ファッションCG I	実習、実技	佐藤 崇	1

授業の到達目標	Adobe Illustratorを用いて、ファッション分野におけるグラフィックデザイン(商品タグ・ロゴ・ZINE)を自ら企画・制作し、意図を持って表現できるようにする。
---------	---

授業の内容	Adobe Illustratorを使用し、ファッション分野におけるグラフィック制作技術を習得する。 最終的に「商品タグ・ロゴ・ZINE」を制作し、実務レベルのデザイン力を身につける。
-------	---

回	授業計画 及び 学習の内容
1	グラフィックデザインとは？ 導入・Illustratorとは
2	図形とパス操作
3	色と塗り・線
4	文字(タイポグラフィ)
5	レイアウト基礎
6	商品タグ制作 ブランドタグとは、必要情報
7	↓ コンセプト設計、レイアウト作成
8	↓ 仕上げ、商品タグ完成
9	ロゴデザイン基礎 ロゴの種類、有名ブランド分析
10	↓ コンセプト設計、スケッチーデジタル化
11	↓ ブラッシュアップ、ブランドロゴ完成
12	ZINE制作 ZINEとは？ZINEの役割(自己表現・ブランド発信)、テーマ設定
13	↓ ページ構成、画像配置、タイポグラフィ応用
14	↓ 編集・仕上げ、印刷データ作成
15	プレゼンテーション ZINE完成

成績評価の方法
出席・授業態度、作業進行、課題評価、プレゼンテーションの総合的評価

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)
杉本ちゆきデザイン事務所デザイナーアシスタント経験後、OEM企画会社に入社。新規ブランド立上げの際にブランドロゴ制作を担当。 その後DiceKisプレスルームにてプレス、E-コマース、撮影、イベントブース設営・物販などを務める

授業初日持ち物 筆記用具	学校で準備する教材など プロジェクター
-----------------	------------------------

配付資料	プリント配布
------	--------

渋谷ファッション & アート専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	学年	学期
服飾専門課程	ファッション総合科	2026年度	1年	後期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	単位
選択	リテールMD I	講義・演習	伊藤 美散	1

授業の到達目標	マーチャンダイジングの基礎を学び、仕事を理解することを目指す。
---------	---------------------------------

授業の内容	マーチャンダイジングの基礎を学び、小売業における品揃えを理解し、オリジナルショップの企画を行う。
-------	--

回	授業計画 及び 学習の内容
1	AWTトレンド予測マップ制作
2	〃
3	〃
4	〃
5	ショップ企画 ターゲット設定
6	マップ制作
7	〃
8	〃
9	ショップ設定 マップ制作
10	競合店リサーチまとめ
11	ショップ設定 マップ制作
12	品揃えマップ制作
13	〃
14	〃
15	〃

成績評価の方法
授業態度、出欠席、課題提出状況による総合評価

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)
他の服飾専門学校での教員勤務及び服飾雑貨メーカーで営業主任として勤務

授業初日持ち物 筆記用具、はさみ、のり	学校で準備する教材など
------------------------	-------------

配付資料

渋谷ファッション＆アート専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	学年	学期
服飾専門課程	ファッション総合科	2026年度	1年	後期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	単位
選択	コーディネートワークⅡ	実習・実技	伊藤 美散	1

授業の到達目標	基本を学び、コーディネートの幅を広げることを目指す。
---------	----------------------------

授業の内容	コーディネートの基本となるカラー、着回しにおけるコーディネート提案力を養う。
-------	--

回	授業計画 及び 学習の内容
1	配色によるコーディネートについての解説
2	マップ制作
3	〃
4	〃
5	〃
6	1アイテムのコーディネート提案
7	マップ制作
8	〃
9	〃
10	〃
11	着回しコーディネート提案
12	マップ制作
13	〃
14	〃
15	〃

成績評価の方法
授業態度、出欠席、課題提出状況による総合評価

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)
他の服飾専門学校での教員勤務及び服飾雑貨メーカーで営業主任として勤務

授業初日持ち物 筆記用具、はさみ、のり	学校で準備する教材など
配付資料	

渋谷ファッション & アート専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	学年	学期
服飾専門課程	ファッション総合科	2026年度	1年	後期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	単位
選択	インターネットビジネス I	実習 実技	柴田 聡	1

授業の到達目標 (目標とする検定)	インターネットビジネスの理解。テーマに沿ったコンテンツの理解、作成 AIの基礎を理解する。フォトショップの操作、理解、技術の習得
----------------------	---

授業の内容	本授業では、インターネットビジネスの基礎を学び、実践的なスキルを習得します。AIの使い方を学び、初歩的な操作を学びます。 特にLINEスタンプの制作・申請に重点を置き、Photoshopの基礎、動画作成、YouTubeの基本も学びます。初心者でも安心して取り組める内容で構成します。
-------	--

回	授業計画 及び 学習の内容
1	インターネットビジネスの概要。LINEスタンプ、Photoshop、YouTubeの基礎知識。AI の理解。
2	LINEスタンプの企画・アイデア出し。AI 使用化。企画決定。
3	LINE Creators Marketへの登録。スタンプ作成。
4	LINEスタンプの申請。審査の流れと注意点、審査リジェクト時の修正方法の説明。
5	Photoshopの基本操作。
6	画像編集・加工の基礎。テキスト・図形の挿入など。
7	レイヤーの概念と使い方、色調補正・フィルター機能を学ぶ。
8	YouTubeチャンネルの説明。動画生成におけるAI活用説明。
9	動画コンテンツの企画・撮影・編集の基礎。
10	YouTubeサムネイルの作成など。
11	ショート動画の撮影。
12	ショート動画の撮影。
13	ショート動画の撮影、編集。
14	ショート動画の撮影、編集。
15	Youtubeの投稿の成果発表。

成績評価の方法
作業は学校のPCおよび個人のスマートフォンのみとなりますので課題はありません。したがってあくまでも授業で行う作業や授業態度で評価します。

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)
有限会社檀クリエイト(デザイン・インターネット・メディア制作会社)にてグラフィックデザイン・Webデザイン・ディレクター代表 実績: JAXA、TOTO、リコー、国土交通省、川崎市、Yahoo、楽天などメディア作成

授業初日持ち物	学校で準備する教材など
スマートフォン、スマートフォンケーブル、 ノート、筆記用具。 Gmailアカウントを用意。	

配付資料
説明用プリント、フォトショップ演習に使う画像は必要に応じて配布いたします

渋谷ファッション & アート専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	学年	学期
服飾専門課程	ファッション総合科	2026年度	1年	後期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	単位
選択	ファッションマーケティングⅡ	実習、実技	佐藤 崇／オムニバス形式	1

授業の到達目標	SNSの投稿やハッシュタグをもとに、ファッションのトレンドを読み取る力を身につけることを目指します。トレンドの見つけ方やターゲットの考え方を理解し、情報を整理・分析しながら、今のファッションの動きを捉えられるようになることを目標とします。
---------	---

授業の内容	スマートフォンの普及に伴いオンラインショップが増えている中、実店舗はどのようにしてオンラインショップと連携して集客を行っているのか？それをどのようにして売り上げに繋げているのかを理解させる。
-------	---

回	授業計画 及び 学習の内容	
1	SNSと街から読み解く	トレンド分析(渋谷・原宿)
2	トレンド理解	「トレンド」とは何か(ファッションに限らない)、エリア特性(渋谷／原宿)
3	SNSとトレンドの関係	X・TikTok・Instagramの役割、情報拡散と流行の広がり方
4	トレンドの種類	ファッション／フード／カルチャー／ライフスタイル、短期トレンドと長期トレンド、最近の流行を書き出す
5	リサーチ(SNS)	ハッシュタグ・検索方法、トレンドの拾い方、「なぜ流行っているか」の考え方
6	フィールドリサーチ(店舗)	
7		渋谷・原宿の店舗調査
8	↓	「今売れているもの」「打ち出しているもの」を確認
9	フィールドリサーチ(ストリート)	
10		SNSとの共通点・違いを意識
11	↓	SNSと現地の比較
12	スライド資料作成	
13		分析結果のまとめ
14	↓	
15	プレゼンテーション	トレンド分析発表、講評・振り返り

成績評価の方法
SNSリサーチ、フィールドリサーチ、最終分析・発表による評価
出席状況、授業中に実施する制作物の総合的評価

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)
杉本ちゆきデザイン事務所デザイナーアシスタント経験後、OEM企画会社に入社。新規ブランド立上げの際にブランドロゴ制作を担当。その後Dicekisプレスルームにてプレス、E-コマース、撮影、イベントブース設営・物販などを務める

授業初日持ち物 筆記用具	学校で準備する教材など プロジェクター
-----------------	------------------------

配付資料	プリント配布
------	--------

渋谷ファッション＆アート専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	学年	学期
服飾専門課程	ファッション総合科	2026年度	1年	後期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	単位
選択	コスチュームデザイン基礎	実習 実技	島山良絵	1

授業の到達目標 (目標とする検定)	1つのテーマを独自の発想をもとにコスチュームデザインのコンセプト作りが出来るようになる事
----------------------	--

授業の内容	テーマをもとにしてコスチュームデザインを描く 発想・リサーチ・構想・その過程への取り組み
-------	--

回	授業計画 及び 学習の内容
1	テーマパークの衣装デザインを描く テーマを決めて そのテーマに沿ってリサーチ
2	構想をもとにデザインを決める
3	デザイン画を描く
4	プレゼン
5	期間中テーマを変えて1～4を実行する(授業回数はテーマによって異なる)
6	↓
7	PC(Photoshop)でデザイン画を描く練習
8	コスチューム造形に特化したパーツ制作
9	↓
10	↓
11	↓
12	↓
13	↓
14	↓
15	↓

成績評価の方法
授業への取り組み方、作品提出など

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)
テーマパークにてコスチュームデザイン業務 CANVAS(子供ワークショップ)にてワークショップ開催 劇団ひまわりなどの衣装担当 サスティナブル子供服デザイン

授業初日持ち物 デザイン画を描く道具	学校で準備する教材など
-----------------------	-------------

配付資料 必要に応じて配布します 授業内容は進行状況によって変更になる場合があります

渋谷ファッション & アート専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	学年	学期
服飾専門課程	ファッション総合科	2026年度	1年	後期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	単位
選択	造形知識	講義	伊藤 美散	1

授業の到達目標	ファッションビジネス能力検定の造形知識の試験対策、検定合格を目指す。
---------	------------------------------------

授業の内容	検定対策及び商品知識の充実を図り、商品知識の幅を広げる。
-------	------------------------------

回	授業計画 及び 学習の内容
1	検定対策:シルエット、トップスについて
2	:ボトム、アウター、ネックライン
3	:カラー、ポケット、ファッションイメージ
4	:素材、柄
5	:教科書
6	↓ 過去問チャレンジ
7	検定試験 振り返り
8	商品知識:その他のアイテム、靴の名称
9	:バッグの名称
10	:帽子の名称
11	:その他のディテール①
12	②
13	③
14	↓ ④
15	テスト、総括

成績評価の方法
授業態度、出欠席、課題提出状況による総合評価

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)
他の服飾専門学校での教員勤務及び服飾雑貨メーカーで営業主任として勤務

授業初日持ち物 筆記用具、はさみ、のり	学校で準備する教材など
配付資料	

渋谷ファッション & アート専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	学年	学期
服飾専門課程	ファッション総合科	2026年度	1年	後期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	単位
選択	ファッションゼミナールⅡ	実習、実技	佐藤 崇／オムニバス形式	1

授業の到達目標	SDGSサステナブルファッションに特化した活動し理解する。
---------	-------------------------------

授業の内容	ファッションと環境の現状を知り、今後のファッションの在り方、サステナブルファッションとは何かを理解し、今後どのようにして服に付加価値を付けていけるかを考える。 ホテルall day place shibuyaと連携し、着なくなった古着を再利用しPOP UPイベントや学園祭での提供を行う
-------	--

回	授業計画 及び 学習の内容
1	ゼミナールⅠでの活動振り返り
2	古着回収（ホテルall day place shibuya回収ボックスにて）第Ⅲ弾
3	回収した古着を学園祭に出店するものを選別
4	ウラハラフェス出店準備（11月開催予定）
5	
6	
7	↓
8	古着リメイク(Reデザイン、再構築)
9	
10	
11	
12	
13	↓
14	展示準備
15	古着リメイク企画立案

成績評価の方法
授業内容の習得度の確認。（ペーパーテスト、実地見学のレポート、等。）
出席状況、授業中に実施するイベント・制作物の総合的評価

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)
杉本ちゆきデザイン事務所デザイナーアシスタント経験後、OEM企画会社に入社。新規ブランド立上げの際にブランドロゴ制作を担当。その後Dicekisプレスルームにてプレス、Eコマース、撮影、イベントブース設営・物販などを務める

授業初日持ち物 筆記用具	学校で準備する教材など プロジェクター
-----------------	------------------------

配付資料	プリント配布
------	--------

渋谷ファッション＆アート専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	学年	学期
服飾専門課程	ファッション総合科	2026年度	1年	後期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	単位
選択	デザインコンテストⅠ	実習 実技	河村 秀子	1
授業の到達目標 (目標とする検定)	2年時前期に集中する各種「コンテスト」への参加を目指す。 発想力、表現力、プレゼンカの向上を目指す。			
授業の内容	・テーマ設定、リサーチ、デザイン作業、デザイン画テクニックを演習を通して学ぶ。 ・後期中に参加出来るコンテストがあればなるべくトライする。応募シート作成法なども学ぶ。			
回	授業計画 及び 学習の内容			
1	【初回レクチャー】 コンテストの種類、概要、応募法、作品作成までの流れを説明。過去の生徒作品の紹介も交えレクチャー。			
2				
3				
4				
5	①『ケミカルシューズコンテスト』			
6	②『カムアクロス傘デザインコンテスト』又は『沖縄かりゆし』			
7				
8				
9				
10	③YKKファスニングアワード、又は次年度デザインコンテストに向けて対策/作品制作			
11				
12				
13				
14				
15				
成績評価の方法				
授業への取り組み方、作品提出				
教員の実務経験(企業や団体での実務経験)				
通販企画、繊維商社内商品企画/サンプル作成、トレンド情報誌企画/イラスト/作成全般など				
授業初日持ち物 色鉛筆・スケッチブック		学校で準備する教材など		
配付資料				

渋谷ファッション&アート専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	学年	学期
服飾専門課程	ファッション総合科	2026年度	1年	後期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	単位
選択	ハンドメイドⅡ	実習 実技	薄木 爽大	1

授業の到達目標 (目標とする検定)	基本的理論の理解、技術の習得を目標とする。フリーマーケットで作品を販売をする。
----------------------	---

授業の内容	洋服だけではなく、雑貨小物も作れるように基本から応用作品までを製作し、トータルファッションの一部に出来るようにする。
-------	--

回	授業計画 及び 学習の内容
1	フリーマーケットで販売する作品を製作
2	↓
3	↓
4	↓
5	↓ 作品提出
6	まち付きトートバッグ(裏地付き)製作
7	↓
8	↓
9	↓
10	↓ まち付きトートバッグ(裏地付き)提出
11	自由作品製作
12	↓
13	↓
14	↓
15	↓ 自由作品提出

成績評価の方法
作品 実習態度 出席状況

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)

授業初日持ち物	学校で準備する教材など
筆記用具、ルーラー式、洋裁道具	特になし

配付資料	プリント配布
------	--------

渋谷ファッション & アート専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	学年	学期
服飾専門課程	ファッション総合科	2026年度	1年	前期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	単位
選択	ニット・手芸	実習 実技	上田 伊津子	1

授業の到達目標	手芸基礎知識及び技法、名称の習得 手編みの基礎知識及び技法、名称の習得
---------	--

授業の内容	デザインの一部として取り入られるフランス刺繍・ドロンワーク・スモッキングなどの基礎知識、ニッティング(手編み)鉤針・棒針・アフガン編みの基礎知識及び技法、名称の習得手芸またはニッティングを用いてオリジナル作品を作成する
-------	---

回	授業計画 及び 学習の内容
1	手芸 フランス刺繍基礎刺し ドロンワーク・スモッキング 説明
2	
3	
4	↓
5	ニッティング 基礎編み かぎ編み 棒針編み アフガン編み
6	
7	
8	
9	
10	
11	↓
12	自由作品 刺繍・スモッキング・ドロンワーク ・かぎ編み・棒針 など
13	
14	
15	↓

成績評価の方法
提出課題、出席状況、授業態度

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)
企業デザイナーとして業務多数。(BIGIグループ、サザビーリーグ、カイトックなど)自らニット会社を立ち上げ、ニットブランドを制作、卸、販売。 その後、フリーランスになり、ニットカットソーのOEM,ODMを受注

授業初日持ち物 部分縫いテキスト、刺しゅう糸(2～3色)、 フェルト、糸きりばさみ、筆記用具、A4ファイル	学校で準備する教材など
---	-------------

配付資料 プリント配布

渋谷ファッション & アート専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	学年	学期
服飾専門課程	ファッション総合科	2026年度	1年	前期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	単位
選択	Tシャツプリント	実習、実技	佐藤 崇	1

授業の到達目標	デザイン・枠張り・プリント作業を行いオリジナルTシャツ制作する。 プリントの種類・方法・工程を理解する事
---------	---

授業の内容	カッティング・転写・シルクスクリーンの方法でオリジナルTシャツ制作する。 シルクスクリーンでは製版・木枠貼替・刷りの工程で行う。
-------	---

回	授業計画 及び 学習の内容
1	プリントについて基礎知識
2	カッティングラバーシート説明・デザイン作成
3	↓
4	カッティング作業・プリント(Tシャツ完成)
5	転写プリントについて基礎知識
6	写真撮影・デザイン作成
7	↓
8	↓
9	転写プリント作業(Tシャツ完成)
10	シルクスクリーンプリントについて基礎知識
11	デザイン・原稿作成
12	製版(露光・水洗い・ピンホール確認)
13	木枠張り・絵刷(試し刷り)
14	Tシャツ絵刷
15	↓

成績評価の方法
提出課題の評価・実技実習の評価・前期テスト・出席率
出席状況、授業態度、作品評価

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)
杉本ちゆきデザイン事務所デザイナーアシスタント経験後、OEM企画会社に入社。新規ブランド立上げの際にブランドロゴ制作を担当。 その後Dicekisプレスルームにてプレス、Eコマース、撮影、イベントブース設営・物販などを務める

授業初日持ち物 筆記用具 材料費1,500円(インク・シートなど)	学校で準備する教材など カッティングラバーシート プリント転写紙 染料
---	--

配付資料

渋谷ファッション & アート専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	学年	学期
服飾専門課程	ファッション総合科	2026年度	1年	前期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	単位
選択	モードデッサン	実習	永井俊一	1

授業の到達目標 (目標とする検定)	人体の「基本的な構造・比率・形状」を立体的に理解して、ファッション画の基となる人体像を自分なりに描けるようになる
----------------------	--

授業の内容	【頭部と顔を描く】 頭部の構造を立体的にとらえて目・鼻・口・髪などのパーツをバランスよく配置し描写する 【手を描く】 肩～肘～手首～指先の構造や動きによる表情を理解して描写する 【足を描く】 骨盤～腿～膝～足首～つま先の構造や動きを理解して描写する 色々な靴を描く 【全身を描く】 上記を踏まえて色々なポーズの人体像を描く
-------	---

回	授業計画 及び 学習の内容
1	オリエンテーション 顔を描く①
2	頭部と顔を描く①
3	頭部と顔を描く②
4	頭部と顔を描く③
5	手を描く①
6	手を描く②
7	上半身のまとめ
8	足を描く①
9	足を描く②
10	全身を描く①
11	全身を描く②
12	全身を描く③
13	全身のまとめ①
14	全身のまとめ②
15	全身のまとめ③

成績評価の方法
・学習態度 ・人体構造の理解度 ・画材や道具の使い方 ・提出された課題の成果物

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)
(株)オリエンタルランドで商品デザイン・キャラクターアート制作に携わる 本校文化専門課程(アート)で人物デッサン・クロッキーなど美術の基礎授業を多数受け持つ

授業初日持ち物 鉛筆・スケッチブック	学校で準備する教材など 画像スライドを投影できるモニターやスクリーンなど 必要に応じてモデルの手配 必要に応じて課題用紙・画材
-----------------------	--

配付資料 説明用プリント、実習に使う見本・お手本の画像は必要に応じて配布いたします
--

渋谷ファッション & アート専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	学年	学期
服飾専門課程	ファッション総合科	2026年度	2年	前期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	単位
必修	服飾造形Ⅱ	実習 実技	矢嶋 久美子	4

授業の到達目標 (目標とする検定)	作品制作を通してパターン・ソーイングの理解を深める。
----------------------	----------------------------

授業の内容	1年生で習得した平面構成の基礎段階から応用段階へと進む。 ピックスキン(フレアー・プリーツ)の制作を通してパターン・ソーイングの理解を深める。
-------	--

回	授業計画 及び 学習の内容
1	パターン
2	
3	*ダーツ移動パターン
4	*衿応用パターン
5	*ワンピース応用パターン
6	*フレアー
7	*ケープパターン
8	*ハイネックパターン
9	
10	【部分縫い】 *布ループ *カフス付け *途中明き *W.L接ぎ など
11	
12	
13	
14	
15	▼

成績評価の方法
: 作品・部分縫い・実寸パターンなどの課題提出 出席状況

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)

授業初日持ち物	学校で準備する教材など
筆記用具	

配付資料	プリント配布
------	--------

渋谷ファッション＆アート専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	学年	学期
服飾専門課程	ファッション総合科	2026年度	2年	前期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	単位
選択	ドレーピングⅡ	講義 実習 実技	三科 三四子	2

授業の到達目標 (目標とする検定)	パターンメイキング技術検定3級
----------------------	-----------------

授業の内容	基本的理論の理解、基本技術の習得を目標とする。 平面立体いずれも理論上同一であることを認識・理解する。
-------	--

回	授業計画 及び 学習の内容			
1	上身頃③(パネル原型)復習	ドレーピング組み立て・修正・パターン取り		
2				説明と実習
3	↓	縫い代つけパターンの作成		説明と実習
4	襟 ドレーピング	スタンドカラー	トワル組み立て	説明と実習
5		ロールカラー	トワル組み立て	説明と実習
6		フラットカラー	トワル組み立て	説明と実習
7		セーラーカラー	トワル組み立て	説明と実習
8			パターン取り	説明と実習
9	↓		パターンメイキング	説明と実習
10	袖ドレーピング	袖の目作成		説明と実習
11		セットインスリーブ	トワル組み立て	説明と実習
12	↓		パターン取り・修正	説明と実習
13	ビスチェ(フォルターブラウス)		トワル組み立て	説明と実習
14	↓		修正・パターン取り	説明と実習
15	前期テスト			

成績評価の方法
立体組み立てテスト、立体組み立て・平面パターンの完成度、課題提出、実習態度・意欲(出席率も含む)

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)
杉野服飾大学特任講師として勤務/株式会社セラビ・チーフパターンメーカーとして勤務/グンゼ産業株式会社・パターンメーカーとして勤務/赤川英株式会社・生産管理部勤務/おむすび権米衛・商品部メニュー開発勤務/モデリスト

授業初日持ち物	学校で準備する教材など
筆記用具・A4ファイル・天竺(シーチング厚地)70cm・裁ちばさみ・シルクピン・ピンクッション・メジャー・ルーラー一式 ※天竺は地直した物を持参する	

配付資料
プリント(デザイン画)の配布

渋谷ファッション&アート専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	学年	学期
服飾専門課程	ファッション総合科	2026年度	2年	前期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	単位
選択	CAD I	実習 実技	平良 恵	1

授業の到達目標 (目標とする検定)	多くの企業で使用されている「東レ・クレアコンポⅡ」を使って実習しながらCADに慣れ、基本操作を習得する。
----------------------	--

授業の内容	CAD基礎の基本操作を元に応用操作を学び さらにパタンナーとして必要な操作方法を学ぶ
-------	---

回	授業計画 及び 学習の内容
1	CAD操作復習用ブラウス作成
2	
3	↓
4	3DCADの説明 ベーシックワンピース操作 ・ウエスト削りの練習 ・2Dの落とし込みパターン作成
5	3DCAD 各自作成済 フレアスカート 操作 ・2Dの落とし込みパターン作成
6	1年時 服飾造形パターン復習練習デザインパターン作成
7	セーラーカラー、パフスリーブ、裾ベント付きパンツ型コンビネゾン
8	↓
9	
10	テーラードJKパターン作成(半裏、本切羽仕様)
11	工場用パターン作成 縫い代付け
12	縫製仕様書作成
13	縫製展開図作成
14	↓
15	

成績評価の方法
出席状況 提出課題 ファイル管理 CAD操作の理解度

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)
学校法人 東京田中千代服飾専門学校 4年(副担任) (株)NICOLE 6年 婦人服パタンナー (株)ジーユー 5年7か月 (株) ハニーズ 販売員

授業初日持ち物 ・筆記用具、 ・A4クリアファイル (25ポケット以上 または増やせるもの)	学校で準備する教材など
---	-------------

配付資料	プリント配布
------	--------

渋谷ファッション＆アート専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	学年	学期
服飾専門課程	ファッション総合科	2026年度	2年	前期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	単位
選択	マーケティングプランニングⅠ	実習 実技	仲宗根珠子	1

授業の到達目標 (目標とする検定)	アパレル企業で企画の仕事をするために必要な知識を身につける。
----------------------	--------------------------------

授業の内容	1年生で習得したブランド企画に必要な考え方をベースに、より詳細な季節感を取り入れた月毎のデザイン提案を発表してもらう。 (A4ファイル)
-------	---

回	授業計画 及び 学習の内容
1	アパレルデザイナーのシーズン毎の仕事の流れを把握。四季と素材、色の相関性を考える。春、夏の企画を始める。
2	春(2, 3, 4月)、夏(5, 6, 7月)の企画 シーズンテーマ、コンセプト、シーズンカラー、打ち出す素材は何か
3	イメージマップのページを作成、ファイルのページ展開とレイアウトを決める
4	各月1体、ディスプレイ用のコーディネートを提案 ラフチェック後に清書
5	2月ラフチェック、清書
6	3月ラフチェック、清書
7	4月ラフチェック、清書
8	5月ラフチェック、清書
9	6月ラフチェック、清書
10	7月ラフチェック、清書
11	スタイル画の清書
12	〃
13	1年時に提案した企画の応用として、秋(8, 9, 10月)、冬(11, 12, 1月)のうち、何月向けののスタイリングだったのか振り分ける
14	プレゼン準備
15	プレゼン まとめ

成績評価の方法
季節にふさわしい素材によるデザインが提案できているか、スケジュール通り課題に取り組むことができるか

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)
アーティスト衣裳、CM衣裳のデザイン・制作。 アパレルメーカーにてレディース既製服のデザイン企画業務。

授業初日持ち物 筆記用具 1年時に作成したポートフォリオ	学校で準備する教材など プリント配布
------------------------------------	-----------------------

配付資料 必要に応じてプリント配布します。

渋谷ファッション & アート専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	学年	学期
服飾専門課程	ファッション総合科	2026年度	2年	前期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	単位
選択	インダストリアルソーイング	実習 実技	大森 晴香	2

授業の到達目標 (目標とする検定)	一年次で学んだ知識と技術を基に、ラグランスリーブコートを製作する。 工場縫製の演習を通して、既製服の仕様、生産、付属、道具の扱い方を学ぶ。
----------------------	--

授業の内容	・裏なしラグランスリーブコートの工業縫製を勉強し、作品を縫製する。
-------	-----------------------------------

回	授業計画 及び 学習の内容	
1	裏なしラグランスリーブコート製作	裁断・縫製
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15	裏なしラグランスリーブコート 提出	

成績評価の方法
作品の完成度、出席状況、提出日

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)
高級婦人服、舞台衣装の縫製、お直しなど。

授業初日持ち物	学校で準備する教材など
薄地シーチング(縦40cm×30cm)4枚 (地直し済みの物) ジャケット用生地、芯地、ミシン糸、 洋裁用具、筆記用具、A4クリアファイル	

配付資料
必要に応じてプリント配布

渋谷ファッション＆アート専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	学年	学期
服飾専門課程	ファッション総合科	2026年度	2年	前期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	単位
選択	服飾造形SⅡ	実習 実技	矢嶋 久美子	2

授業の到達目標 (目標とする検定)	作品制作を通してパターン・ソーイングの理解を深める。 パターンメイキング技術検定試験 2級・3級
----------------------	---

授業の内容	田中千代の服飾の基本となる授業である。 基礎に続き基礎力を充実させ、作品の完成度を高める。 パターンメイキング検定2級・3級の取得を目指した検定対策を行う。 研究作品として、テーマを決め各自デザインを考え、そのシルエットやデザインにあったパターンを描き、 素材を選び作製する
-------	---

回	授業計画 及び 学習の内容
1	パターンメイキング検定 2級・3級の対策
2	筆記 平面パターン ドレーピング
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	↓
11	研究作品 オリジナル作品を作成
12	<パターン・ソーイング> 各自パターン カッティング ソーイング
13	
14	
15	↓

成績評価の方法
: 提出課題(パターン、作品、部分縫いなど)の評価 出席状況

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)

授業初日持ち物 パターンの準備	学校で準備する教材など
配付資料 プリント配布	

渋谷ファッション&アート専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	学年	学期
服飾専門課程	ファッション総合科	2026年度	2年	前期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	単位
選択	コスチュームデザインⅠ	実習 実技	畠山良絵	2

授業の到達目標 (目標とする検定)	1つのテーマを独自の発想をもとにコスチュームデザインのコンセプト作りが出来るようになる事
----------------------	--

授業の内容	テーマをもとにしてコスチュームデザインを描く その過程への取り組み 造形制作
-------	--

回	授業計画 及び 学習の内容
1	テーマを決めて そのテーマに沿ってリサーチ
2	構想に沿ってデザインを決める
3	デザインを描く(手描き、PCなど自由)
4	プレゼン
5	造形の取り組み 各自で描いたデザインを実寸でヘッドドレスとして造形する(10回予定)
6	衣装に特化した生地屋訪問 今の技術を見学させていただく
7	造形の取り組み 各自で描いたデザインを実寸でヘッドドレスとして造形する
8	↓
9	↓
10	↓
11	↓
12	↓
13	↓
14	↓
15	↓

成績評価の方法
授業への取り組み方、作品提出など

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)
テーマパークにてコスチュームデザイン業務 CANVAS(子供ワークショップ)にてワークショップ開催 劇団ひまわりなどの衣装担当

授業初日持ち物	学校で準備する教材など
デザイン画を描く道具	

配付資料
必要に応じて配布します 授業内容は進行状況によって変更になる場合があります

渋谷ファッション&アート専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	学年	学期
服飾専門課程	ファッション総合科	2026年度	2年	前期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	単位
選択	パターン	講義 実習 実技	三科 三四子	2

授業の到達目標 (目標とする検定)	企業原型を使用しブラウス・ジャケットを自由にパターンメイキングできるようになる。
----------------------	--

授業の内容	企業原型を使用し実寸サイズパターンを作成、でトフルを組み立てシルエット研究を行う。 最初はブラウスでウオーミングアップし、ジャケットなどのデザイン画、 写真を用意しそのディテールを見極め適切なパターンメイキングをできるよう研究をする。 トフルを組み立て補正パターン修正する事も合わせて学ぶ。
-------	--

回	授業計画 及び 学習の内容
1	応用ブラウス研究1 (ダーツ展開①)実寸パターンメイキング 《企業ドレス原型使用》
2	シーチング半身組み立て
3	応用ブラウス研究2 (ダーツの展開②)実寸パターンメイキング 《企業ドレス原型使用》
4	シーチング半身組み立て
5	応用ブラウス研究3 (袖付き・1枚袖 フレアブラウス)実寸パターンメイキング 《企業プリンセス原型使用》
6	シーチング半身組み立て
7	応用ボトムス研究4 (デザインスカート)実寸パターンメイキング 《企業タイトスカート原型使用》
8	シーチング半身組み立て
9	応用ブラウス研究5 テーラードカラー 実寸パターンメイキング 《ブラウス原型使用》
10	シーチング半身組み立て
11	応用ジャケット研究1 身頃パターンメイキング シーチング組み立て(半身) 《企業JK原型使用》
12	応用ジャケット研究2 袖のパターンメイキング (2枚袖)
13	応用ジャケット研究3 袖シーチング組み立て
14	応用ジャケット研究4 衿のパターンメイキング シーチング組み立て
15	ドレープパンツ 縫い代付け研究

成績評価の方法
研究課題の評価・研究パターンの完成度・出席率・実習態度を総合的に評価します。

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)
杉野服飾大学特任講師として勤務/株式会社セラビ・チーフパターンメーカーとして勤務/グンゼ産業株式会社・パターンメーカーとして勤務/赤川英株式会社・生産管理部勤務/おむすび権米衛・商品部メニュー開発勤務/モデリスト

授業初日持ち物 筆記用具・A4ファイル・ 天竺(シーチング薄地)150cm・裁ちばさみ・ シルクピン・ピンクッション・メジャー・ルーラー一式 ※天竺は地直した物を持参する	学校で準備する教材など
配付資料 プリント配布	

渋谷ファッション & アート専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	学年	学期
服飾専門課程	ファッション総合科	2026年度	2年	前期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	単位
選択	特殊縫製	実習 実技	矢嶋 久美子	2

授業の到達目標 (目標とする検定)	異素材の扱い方や縫製上の注意点も学び、素材やデザインに応じた様々な仕様を学習し今後の卒業作品製作に活かせる力をつけることを目標とする。
----------------------	---

授業の内容	・異素材の扱い方、ビッグスキン作品の縫製方法を勉強し、部分縫いする。 ・特殊素材(薄物など)でブラウスを縫製する。
-------	--

回	授業計画 及び 学習の内容
1	ミシン練習
2	異素材部分縫い ベルベット
3	異素材部分縫い ファー
4	異素材部分縫い ダブルフェイス
5	異素材部分縫い 薄物ブリーツ
6	異素材部分縫い 薄物パイピング始末
7	薄物素材(オーガンジー・シフォンなど)のブラウス 裁断・縫製
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	↓
15	薄物ブラウス 提出

成績評価の方法
: 提出課題(パターン、作品、部分縫いなど)の評価 出席状況

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)

授業初日持ち物 ・ 薄地シーチング(縦40cm×30cm)4枚 (地直し済みの物) ・ 洋裁用具、筆記用具、A4クリアファイル	学校で準備する教材など
--	-------------

配付資料	必要に応じてプリント配布
------	--------------

渋谷ファッション & アート専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	学年	学期			
服飾専門課程	ファッション総合科	2026年度	2年	前期			
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	単位			
選択	デザインニットⅠ	実習 実技	杉本美優	1			
授業の到達目標 (目標とする検定)	ハンドワークの伝統を理解するとともに技術を習得し、 今後の作品制作における表現の幅を広げることを目的とする。						
授業の内容	伝統技術と現代ファッションの関係性を理解するとともに、サステナブルなものづくりについて学ぶ。 また、アップサイクルやサステナブルデザインの視点から、 これからのファッションと手仕事の可能性について考察する。 さらに、伝統技術を未来へ継承するための取り組みについて理解を深める。						
回	授業計画 及び 学習の内容						
1	授業概要の説明、ハンドワークの基礎理解						
2	ハンドワーク(スモッキング)の基礎技術の習得						
3	↓						
4							
5							
6					ストレッチ素材の特性理解および制作アイテムの企画・デザイン提案		
7					デザインに基づいたアイテム制作		
8	↓						
9							
10							
11					スモッキング技法とストレッチ素材を組み合わせたミックスアイテムの制作		
12							
13	↓						
14							
15							
成績評価の方法							
作品評価(最終制作物)、制作プロセス(課題への取り組み・進行)、企画・デザイン提案力、授業態度・出席							
教員の実務経験(企業や団体での実務経験)							
株式会社リナモンド入社。縫製工としてクラシックバレエのレッスンウェア(レオタード)の裁断を担当。 2023年よりデザイナーズブランド「memeci」にてアシスタントデザイナーとして活動している。2024年「Fumika」着物のアップサイクルを目的としたオーダーメイド制作にも関わっていた。							
持ち物		学校で準備する教材など					
筆記用具、裁縫道具、ルーラー							
配付資料							

渋谷ファッション&アート専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	学年	学期
服飾専門課程	ファッション総合科	2026年度	2年	前期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	単位
選択	服飾素材Ⅰ	実習 実技	三戸浩昭	1

授業の到達目標 (目標とする検定)	生地組織や特徴を理解した上で実際に配色やデザインを行い、 素材の特性をハードとソフト両面から理解を深めます。
----------------------	---

授業の内容	独自のコンセプトを立て、配色とデザインを決定。色厚紙を用いて、生地組織模型を織り、 最終的にその作品を組み合わせるオリジナルの額装アートを作ります。
-------	---

回	授業計画 及び 学習の内容
1	服飾素材 オリエンテーション
2	服飾素材1-① 幾何学模様Ⅰ 設計図作成
3	服飾素材1-② 幾何学模様Ⅰ 設計図作成
4	服飾素材1-③ 幾何学模様Ⅰ ペーパークロス作成
5	服飾素材1-④ 幾何学模様Ⅰ ペーパークロス作成
6	服飾素材2-① チェックⅠ 設計図作成
7	服飾素材2-② チェックⅠ 設計図作成
8	服飾素材2-③ チェックⅠ ペーパークロス作成
9	服飾素材2-④ チェックⅠ ペーパークロス作成
10	服飾素材3-① 幾何学模様Ⅱ 設計図作成
11	服飾素材3-② 幾何学模様Ⅱ 設計図作成
12	服飾素材3-③ 幾何学模様Ⅱ ペーパークロス作成
13	服飾素材4-④ 幾何学模様Ⅱ ペーパークロス作成
14	服飾素材5-① 素材額装
15	服飾素材 服飾素材企画総評

成績評価の方法
授業態度、取り組み姿勢、設計図、作品の完成度

教員の業務経験(企業や団体での業務経験)
株式会社ファイブフォックス 服飾企画5年、服飾雑貨企画5年。(コムサデモード、ペイトンプレイス、バジーレ28等) 株式会社三陽商会 服飾 雑貨企画20年(バーバリー ブルーレーベル、エポカ ウォモ、ポール・スチュアート、マッキントッシュ・ロンドン等)

授業初日持ち物	学校で準備する教材など
筆記用具、カッターナイフ、定規	両面テープ

配付資料

渋谷ファッション&アート専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	学年	学期
服飾専門課程	ファッション総合科	2026年度	2年	前期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	単位
選択	VMD	講義・演習	渡邊純子	2

授業の到達目標 (目標とする検定)	百貨店・専門店など小売店舗に必要な販売戦略の知識を学ぶと共に、 基本のビジュアルプレゼンテーションテクニックを習得し、実践にて活用できるようにする。
----------------------	---

授業の内容	「VMDとは何か」「小売店舗ではどのようにしてお客様を集客し、売上につなげているのか」 VMDの役割を理解すると共に、実践で活用できる基本テクニックを習得する。 自分が考えるコンセプトをもとに、エントランスにてディスプレイ実習を行う。
-------	---

回	授業計画 及び 学習の内容
1	VMDとは何か / お店のGOOD&BAD・〇〇しやすい店とは何か
2	VP・PP・IPの意味とその役割 / 購買心理について・五感に訴えるお店づくりとは
3	ウェアリング 1 / マネキン・ボディの着せ付け
4	ウェアリング 2 / マネキン・ボディの構成
5	フォールドット(商品のたたみ方)・陳列について / レイダウン
6	ラッピング
7	三角形構成を考える
8	ピンナップ (直線的構成・着装的構成)
9	ピンワーク ① 壁面でのピンワーク表現方法 / マネキンとの構成を考える
10	ピンワーク ② ボディでのピンワーク表現方法
11	テグスワーク (テグスの結び方・商品の吊り方)
12	PP展開について(技能検定試験問題に挑戦)
13	<エントランス展示ディスプレイ> 企画書作成(テーマ・コンセプト・イメージカラー・ジュ) / プラン作成
14	<エントランス展示ディスプレイ> 準備・実習
15	<エントランス展示ディスプレイ> 撤収・VMDまとめ

成績評価の方法
提出課題の評価・実技実習の評価・出席率

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)
百貨店・大型商業施設・展示会にてVMDのデザイン及び施工に携わる。日本ビジュアルマーチャンダイジング協会員 商業施設及び店舗にてVMDセミナー 「商品装飾展示技能試験」の対策セミナー

授業初日持ち物 筆記用具・教科書	学校で準備する教材など マネキン・ボディ・展示用パネル・サテン生地(5m×人数分)・セロテープ・ 実習用の各道具
---------------------	--

--

渋谷ファッション & アート専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	学年	学期
服飾専門課程	ファッション総合科	2026年度	2年	前期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	単位
選択	ファッションビジネス企画Ⅱ	演習・実技	伊藤 美散	2

授業の到達目標	売れる商品企画、製作を含めてお客様のことを考えた品揃えをショップ運営を通して学ぶ。 また上代、下代を考えた商品企画、製作を意識することを目指す。
---------	---

授業の内容	学生ショップオープンに向けて、ブランド企画、商品企画・製作、価格設定などを行い、実店舗での販売活動を行う。またトレンドを意識した商品企画を行う。
-------	--

回	授業計画 及び 学習の内容
1	店内装飾企画、製作・商品製作
2	〃
3	〃
4	オープン準備
5	ショップオープン① 準備→オープン→片付け
6	商品製作
7	〃
8	ショップオープン② 準備→オープン→片付け
9	商品製作
10	〃
11	ショップオープン③ 準備→オープン→片付け
12	商品製作
13	ショップオープン④ 準備→オープン→片付け
14	ショップオープン⑤ 準備→オープン→片付け
15	前期総括

成績評価の方法
授業態度、出欠席による評価

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)
他の服飾専門学校での教員勤務及び服飾雑貨メーカーで営業主任として勤務

授業初日持ち物 筆記用具、裁縫用具など1年次の続きの作業ができるようにすること。	学校で準備する教材など
---	-------------

配付資料

渋谷ファッション & アート専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	学年	学期
服飾専門課程	ファッション総合科	2026年度	2年	前期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	単位
選択	ファッションマーケティングⅢ	実習	伊藤 美散	1

授業の到達目標	さまざまな情報が溢れるなか、自分で行って、見て、感じて、考える力を養い、情報に左右されない考え方ができるようになることを目指す。
---------	--

授業の内容	百貨店や商業施設、話題のショップなどのリサーチを行い、分析と考察を加えてファッション業界の今を体感し、理解を深める。
-------	--

回	授業計画 及び 学習の内容
1	ウィンドーディスプレイ調査
2	リサーチ分析、まとめ
3	〃
4	〃
5	新宿伊勢丹事前調査
6	〃
7	〃
8	〃
9	伊勢丹リサーチ
10	接客レポートまとめ
11	ショップリサーチまとめ
12	ショップリサーチまとめ、ショップ分類
13	ショップリサーチ(渋谷周辺)
14	リサーチ分析、まとめ
15	〃

成績評価の方法
授業態度、出欠席、課題提出状況による総合評価

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)
他の服飾専門学校での教員勤務及び服飾雑貨メーカーで営業主任として勤務

授業初日持ち物 筆記用具	学校で準備する教材など
配付資料	

渋谷ファッション & アート専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	学年	学期
服飾専門課程	ファッション総合科	2026年度	2年	2年前期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	単位
選択	販売実務	実習 実技	岩井光枝	2

授業の到達目標	販売員の仕事の軸である接客についての理解を深め、実践的な練習や販売の現場に必要なマナーや知識を身につけることで、即戦力になる人材を育成する
---------	---

授業の内容	仕事内容・接客・マナー・商品知識などの販売員の基本の習得と、接客の実践練習により臨場感のある授業を行う
-------	---

回	授業計画 及び 学習の内容
1	販売員の仕事内容についての理解
2	接客についての理解と挨拶の練習
3	ロールプレイング大会に向けての実践練習
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	▼

成績評価の方法
授業態度・出欠席・課題提出状況による総合評価

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)
1998年10月～2013年12月株式会社レリアン ショップマネージャー、2014年11月～2015年12月株式会社ルック ショップアドバイザー、2016年4月～2018年3月レナウン エリアマネージャー、2018年4月～現在 株式会社三陽商会 ショップマネージャー、2020年4月～現在 杉野服飾大学非常勤講師

授業初日持ち物	学校で準備する教材など
筆記用具	・プロジェクター ・シングルハンガーラック・ハンガー・練習のための洋服

配付資料

渋谷ファッション&アート専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	学年	学期
服飾専門課程	ファッション総合科	2026年度	2年	前期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	単位
選択	インターネットビジネスⅡ	実習・実技	柴田 聡	2

授業の到達目標 (目標とする検定)	インターネットビジネスの基礎知識と最新動向を理解します。 AIの基礎を理解する。YouTubeチャンネルの開設・運用に関する専門的な知識を習得する。 ネットショップの開設・運営に関する基本的な知識を習得する。
----------------------	--

授業の内容	本授業では、インターネットを活用したビジネスの基礎から応用までを学びます。特にYouTubeチャンネルの開設・運用に重点を置き、AIの基礎を勉強いたします。またネットショップの作成、Photoshopを用いたグラフィック・バナー制作など、実践的なスキルを習得し、インターネットビジネスの可能性を探求します。
-------	---

回	授業計画 及び 学習の内容
1	デザイン基礎、インターネットビジネスの概要、YouTube、ネットショップ、Photoshopの基礎の説明。
2	Illustratorデザインの基礎を習得。
3	Illustratorデザインの基礎を習得。
4	Youtube動画の作成。
5	Youtube動画の作成。
6	ネットショップ作成・ネットショップ開設サービスの選定と基本設定 BASEを使用。
7	ネットショップ制作作業。
8	ネットショップ制作作業。商品ページの作成と顧客対応の基本。
9	集客・販促戦略の基礎。
10	Photoshop グラフィック・バナー制作。
11	Photoshopの基本操作と応用。
12	グループワーク: 模擬的なYouTubeチャンネルの企画・運用(企画、撮影、編集、投稿、分析)。
13	グループワーク: 模擬的なネットショップの商品企画、ページ作成、広告作成。
14	グループワークの成果発表。
15	プレゼンテーション、講評会

成績評価の方法

個人の運営サイトやYoutubeチャンネルの完成度やアナリティクスアクセス解析を評価します。動画投稿に関しては前期内に投稿数を決めて、各自前期授業期間内に投稿いたします。ネットショップを実際に構築、デザイン、構成力をチェックいたします。

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)

有限会社権クリエイト(デザイン・インターネット・メディア制作会社)にてグラフィックデザイン・Webデザイン・ディレクター代表
実績: JAXA、TOTO、リコー、国土交通省、川崎市、Yahoo、楽天などメディア作成

授業初日持ち物 スマートフォン、スマートフォンケーブル、 ノート、筆記用具。(他の授業での併用可能)	学校で準備する教材など
--	-------------

配付資料

説明用プリント、フォトショップ演習に使う画像は必要に応じて配布いたします。

渋谷ファッション&アート専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	学年	学期
服飾専門課程	ファッション総合科	2026年度	2年	前期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	単位
選択	ブランド研究	講義 演習	伊藤 美散	1

授業の到達目標	海外、日本国内の有名ブランドの歴史やデザイナーの理解を深め、興味関心を持たせることを目指す。
---------	--

授業の内容	海外、日本国内のブランドおよびデザイナーについての基本知識を養い、コレクションへの興味関心を高める。
-------	--

回	授業計画 及び 学習の内容
1	CHANELについて
2	〃
3	Christian Diorについて
4	YSLについて
5	GUCCIについて
6	〃
7	Louis Vuittonについて
8	〃
9	ヨージヤマモトについて
10	コムデギャルソンについて
11	〃
12	イッセイミヤケについて
13	課題制作
14	〃
15	〃

成績評価の方法
授業態度、出欠席、課題提出状況による総合評価

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)
他の服飾専門学校での教員勤務及び服飾雑貨メーカーで営業主任として勤務

授業初日持ち物 B4サイズスケッチブック、筆記用具、はさみ、のり	学校で準備する教材など
配付資料	

渋谷ファッション & アート専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	学年	学期
服飾専門課程	ファッション総合科	2026年度	2年	前期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	単位
必修	ファッションビジネス論	講義・演習	伊藤 美散	2

授業の到達目標	ファッション業界の情報に敏感になり、興味関心を持たせることを目指す。
---------	------------------------------------

授業の内容	ファッション業界の今を知ることで、現状の理解や今後の発展を考える。織研新聞やWWD、インターネットを活用し、情報を敏感に捉える。
-------	--

回	授業計画 及び 学習の内容
1	ファッションビジネスの今を知る 気になるニュース
2	知っておきたいファッション用語
3	〃
4	ファッション業界を動かす世界のコングロマリット
5	〃
6	国内アパレルメーカーの現状
7	ネット社会におけるファッション業界の問題点
8	〃
9	〃
10	ファッションローについて
11	〃
12	〃
13	計数管理
14	〃
15	〃

成績評価の方法
授業態度、出欠席、課題提出状況による総合評価

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)
他の服飾専門学校での教員勤務及び服飾雑貨メーカーで営業主任として勤務

授業初日持ち物 筆記用具、はさみ、のり、A4ノート	学校で準備する教材など
配付資料	

渋谷ファッション&アート専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	学年	学期
服飾専門課程	ファッション総合科	2026年度	2年	前期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	単位
選択	リテールMDⅡ	講義・演習	伊藤 美散	1

授業の到達目標	普段から流行や店舗の品揃えなど、トレンドに敏感に反応する習慣を身に付け、先を予測できる力を養うことを目指す。
---------	--

授業の内容	トレンドを予測したオリジナルショップの企画を行う。後期の卒業研究につなげることを意識する。
-------	---

回	授業計画 及び 学習の内容
1	SSトレンド予測マップ制作
2	〃
3	〃
4	ショップ企画 ターゲット設定 マップ制作
5	〃
6	〃
7	ショップ設定 マップ制作
8	〃
9	競合店リサーチまとめ
10	品揃え企画 マップ制作
11	〃
12	〃
13	AWTトレンド予測マップ制作
14	〃
15	〃

成績評価の方法
授業態度、出欠席、課題提出状況による総合評価

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)
他の服飾専門学校での教員勤務及び服飾雑貨メーカーで営業主任として勤務

授業初日持ち物 筆記用具、はさみ、のり	学校で準備する教材など
------------------------	-------------

配付資料

渋谷ファッション & アート専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	学年	学期
服飾専門課程	ファッション総合科	2026年度	2年	前期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	単位
選択	ファッションCGⅡ	実習・実技	佐藤 崇	1

授業の到達目標	Adobe Illustratorを活用し、ファッションビジュアルの構成・レイアウト力を習得する。 また、スタイリングコーディネート企画から撮影・ビジュアル制作までを一貫して行い、意図を持った表現ができる力を身につける。
---------	---

授業の内容	本授業は、これまでに学習したファッションCGの知識と技術の総仕上げとして位置付ける。 Adobe Illustratorを用い、ビジュアルデザインにおける構成力やレイアウト力を実践的に習得する。 最終課題では「4Dayコーディネート」をテーマに、スタイリングの企画・撮影・編集・デザイン制作までを一貫して行い、ファッションビジュアルとして完成させる。
-------	---

授業計画 及び 学習の内容	
回	
1	デザインレイアウトテクニック確認
2	書体と文字、色彩と法則について
3	レイアウトと配色について
4	ポスター制作(デザイン)
5	ポスター制作(構成・レイアウト)
6	ポスター制作(構成・レイアウト)
7	コーディネートスナップについて
8	コーディネートスナップ制作(アイテム・コーディネート提案)
9	コーディネートスナップ制作(アイテム・コーディネート提案)
10	コーディネートスナップ制作(アイテム撮影)
11	コーディネートスナップ制作(アイテム撮影)
12	コーディネートスナップ制作(PCワーク構成)
13	コーディネートスナップ制作(PCワーク構成)
14	コーディネートスナップ制作(フィニッシュワーク)
15	コーディネートスナップ制作(フィニッシュワーク)

成績評価の方法

出席・授業態度、作業進行、課題評価（制作物・企画力・構成力）

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)

杉本ちゆきデザイン事務所デザイナーアシスタント経験後、OEM企画会社に入社。新規ブランド立上げの際にブランドロゴ制作を担当。
その後Dicakisプレスルームにてプレス、E-コマース、撮影、イベントブース設営・物販などを務める

授業初日持ち物
筆記用具

学校で準備する教材など
プロジェクター

配付資料 プリント配布

渋谷ファッション&アート専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	学年	学期
服飾専門課程	ファッション総合科	2026年度	2年	前期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	単位
選択	コーディネートワークⅢ	実習・実技	伊藤 美散	1

授業の到達目標	販売員として店頭に立った際、さまざまな年齢層や体型、テイストの違うお客様にコーディネート提案ができるようになることを目指す。
---------	--

授業の内容	年齢別のコーディネートの特徴や体型によるコンプレックス解消に役立つコーディネート提案力を高める。 また、リメイク実習で表現力を養う。
-------	---

回	授業計画 及び 学習の内容
1	世代別コーディネート解説
2	マップ制作
3	〃
4	〃
5	リメイク企画 白シャツを使ったリメイク実習
6	製作実習
7	〃
8	〃
9	〃
10	〃
11	体型別コーディネートについて
12	マップ制作
13	〃
14	〃
15	〃

成績評価の方法
授業態度、出欠席、課題提出状況による総合評価

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)
他の服飾専門学校での教員勤務及び服飾雑貨メーカーで営業主任として勤務

授業初日持ち物 筆記用具、はさみ、のり	学校で準備する教材など
配付資料	

渋谷ファッション&アート専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	学年	学期
服飾専門課程	ファッション総合科	2026年度	2年	前期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	単位
選択	デザイン画Ⅱ	実習 実技	河村 秀子	1
授業の到達目標 (目標とする検定)	・設定テーマから、イメージソースの探究、デザイン展開、デザイン画、製品図、まで発想力／表現力を養う。			
授業の内容	・各テーマの中でイメージソース探し、テーマ&コンセプト設定、デザイン、デザイン画へと発展させる演習。 ・手描きのデザイン画→photoshop(着色)→Illustrator(製品図)の表現力を磨く。			
回	授業計画 及び 学習の内容			
1	①PC/イラストレーター 演習『ハンガーイラスト 演習』ベジ曲線、反転、ロゴ、作成方法学ぶ 『Tシャツ演習』 イメージソース探し、テーマ&コンセプト設定製品図バリエーション+プレゼン			
2				
3				
4				
5				
6	②歴史軸『西洋服装史:中世～近世』 イメージソース探し、テーマ&コンセプト設定 モチーフ+デザイン画+製品図+プレゼン			
7				
8				
9				
10				
11	③地理軸『民族衣装:エキゾチックスタイル』 イメージソース探し、テーマ&コンセプト設定 モチーフ+デザイン画+製品図+プレゼン			
12				
13				
14				
15				
成績評価の方法				
授業への取り組み方、作品提出				
教員の実務経験(企業や団体での実務経験)				
通販企画、繊維商社内商品企画/サンプル作成、トレンド情報誌企画/イラスト/作成全般など				
授業初日持ち物 色鉛筆・スケッチブック		学校で準備する教材など		
配付資料				

渋谷ファッション&アート専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	学年	学期
服飾専門課程	ファッション総合科	2026年度	2年	前期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	単位
選択	デザインCGⅡ	実習、実技	佐藤 崇	1

授業の到達目標	音楽から得たインスピレーションをもとに、ファッションビジュアル作品を制作しイラストの基礎技術を理解する。 また、Photoshopによる効率的なビジュアル制作と、テンプレートソフトである Canva を活用したデザイン手法を習得し、多様な表現方法を使い分ける力を身につける。
---------	--

授業の内容	音楽から得たインスピレーションをもとに、ファッションをテーマとしたビジュアルおよびデザイン制作を行う。 Adobe Photoshopを使用し、イメージカラーの制作を通して発想力を養うとともに、デザイン画やスタイリング、素材の整理を行い、ビジュアルとして構成する力を身につける。 さらに、テンプレートソフトであるCanvaを活用し、動画編集を学び、最終的にファッションナブルな映像作品として完成させる。
-------	---

回	授業計画 及び 学習の内容
1	フォトショップ基礎の復習
2	写真共有ウェブサイト・Pinterestの活用(応用)
3	音楽からインスピレーション デザインワーク (曲決め、イメージ出し)
4	音楽からインスピレーション デザインワーク (イメージ出し、イメージマップ作成)
5	音楽からインスピレーション デザインワーク (イメージマップ作成、スタイリング作成)
6	音楽からインスピレーション デザインワーク (スタイリング作成、デザイン画作成)
7	音楽からインスピレーション デザインワーク (デザイン画作成、構成まとめ)
8	Canva動画構成について
9	動画制作 動画のテーマとストーリー構成
10	素材準備(使用する画像・動画の撮影)
11	Canva基本操作・動画編集スタート(動画テンプレートの使い方、テキスト挿入)
12	デザイン調整(レイアウト調整、フォント選び、色の統一)
13	アニメーション・音楽追加(動きの設定、音楽の追加、音楽の追加)
14	仕上げ(最終調整、書き出し)
15	まとめ

成績評価の方法
デザイン画作品、ビジュアル制作、発想・企画力、授業態度での評価

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)
杉本ちゆきデザイン事務所デザイナーアシスタント経験後、OEM企画会社に入社。新規ブランド立上げの際にブランドロゴ制作を担当。 その後Dicekisプレスルームにてプレス、E-コマース、撮影、イベントブース設営・物販などを務める

授業初日持ち物 筆記用具	学校で準備する教材など プロジェクター
-----------------	------------------------

配付資料	プリント配布
------	--------

渋谷ファッション&アート専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	学年	学期
服飾専門課程	ファッション総合科	2026年度	1年	後期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	単位
選択	クリエイションワーク	実習 実技	高崎葉子	1

授業の到達目標 (目標とする検定)	自由に発想できる力と、柔軟で豊かな感性を身につける
----------------------	---------------------------

授業の内容	発想練習は毎回行います。 デザインの基礎となる平面構成や立体構成の演習を行った上で、 生地以外の様々な素材を学び、洋服以外のものからインスピレーションを得て、服をデザインします。 常識の枠にとらわれない「イメージの造形化」を行います。
-------	--

回	授業計画 及び 学習の内容
1	ガイダンス、発想練習
2	平面構成1
3	平面構成2
4	立体構成
5	〃
6	素材研究とイメージの造形化1
7	〃
8	素材研究とイメージの造形化2
9	〃
10	素材研究とイメージの造形化3
11	〃
12	素材研究とイメージの造形化4
13	〃
14	素材研究とイメージの造形化5
15	〃

成績評価の方法
制作に取り組む姿勢、提出作品、出席状況

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)
食品会社広報、大学デザイン系 助教、助手、非常勤講師など

授業初日持ち物 筆記用具、カッター、はさみ	学校で準備する教材など 1/2トルソー、モニター、カッターマット
--------------------------	-------------------------------------

配付資料

渋谷ファッション & アート専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	学年	学期
服飾専門課程	ファッション総合科	2026年度	2年	前期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	単位
選択	デザインコンテストⅡ	実習 実技	河村 秀子	1
授業の到達目標 (目標とする検定)	4月～夏休み間に集中するコンテストに参加。 各自興味のあるテーマ(コンテスト)を探し2～3の作品を完成/提出をする。			

授業の内容	各自選んだコンテストに向けて作品を完成させる。 オリジナリティーを追求できる様工夫を凝らす。
-------	---

回	授業計画 及び 学習の内容
1	各自参加するコンテストを見つける。2～3のコンテスト参加目標にする。 ↓ ・各コンテスト【テーマ】の意図を考察する ↓ ・インスピレーション源になる写真/資料をコラージュ ↓ ・素材/ディテール案をまとめスケッチ ↓ ・デザイン画/ハンガーイラスト ↓ ・エントリーシート作成/応募
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	

成績評価の方法
授業への取り組み方、作品提出

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)
通販企画、繊維商社内商品企画/サンプル作成、トレンド情報誌企画/イラスト/作成全般など

授業初日持ち物 筆記用具、スケッチブック	学校で準備する教材など
配付資料	

渋谷ファッション & アート専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	学年	学期
服飾専門課程	ファッション総合科	2026年度	2年	後期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	単位
選択	卒業制作 I	実習・実技	矢嶋久美子・伊藤美散	6

授業の到達目標	2年間の集大成として、各自テーマを決めて研究、制作、発表までを企画し、進めていきます。
---------	---

授業の内容	各自の目標に向かって、研究、実習を進めるため授業内容は個人によって違います。
-------	--

回	授業計画 及び 学習の内容
1	各自、研究・実習
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	↓

成績評価の方法
授業態度、出欠席、研究課題による総合評価

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)

授業初日持ち物 筆記用具	学校で準備する教材など
-----------------	-------------

配付資料

渋谷ファッション & アート専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	学年	学期
服飾専門課程	ファッション総合科	2026年度	2年	後期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	単位
選択	卒業制作Ⅱ	実習・実技	矢嶋久美子・伊藤美散	6

授業の到達目標	2年間の集大成として、各自テーマを決めて研究、制作、発表までを企画し、進めていきます。
---------	---

授業の内容	各自の目標に向かって、研究、実習を進めるため授業内容は個人によって違います。
-------	--

回	授業計画 及び 学習の内容
1	各自、研究・実習
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	↓

成績評価の方法
授業態度、出欠席、研究課題による総合評価

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)

授業初日持ち物 筆記用具	学校で準備する教材など

配付資料

渋谷ファッション&アート専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	学年	学期
服飾専門課程	ファッション総合科	2026年度	2年	後期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	単位
選択	卒業制作Ⅲ	実習・実技	矢嶋久美子・伊藤美散	6

授業の到達目標	2年間の集大成として、各自テーマを決めて研究、制作、発表までを企画し、進めていきます。
---------	---

授業の内容	各自の目標に向かって、研究、実習を進めるため授業内容は個人によって違います。
-------	--

回	授業計画 及び 学習の内容	
1	各自、研究・実習	
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15	↓	

成績評価の方法
授業態度、出欠席、研究課題による総合評価

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)

授業初日持ち物 筆記用具	学校で準備する教材など
-----------------	-------------

配付資料

渋谷ファッション & アート専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	学年	学期
服飾専門課程	ファッション総合科	2026年度	2年	後期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	単位
選択	卒業研究Ⅰ	実習・実技	矢嶋久美子・伊藤美散	6

授業の到達目標	2年間の集大成として、各自テーマを決めて研究、制作、発表までを企画し、進めていきます。
---------	---

授業の内容	各自の目標に向かって、研究、実習を進めるため授業内容は個人によって違います。
-------	--

回	授業計画 及び 学習の内容
1	各自、研究・実習
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	↓

成績評価の方法
授業態度、出欠席、研究課題による総合評価

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)

授業初日持ち物 筆記用具	学校で準備する教材など
-----------------	-------------

配付資料

渋谷ファッション＆アート専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	学年	学期
服飾専門課程	ファッション総合科	2026年度	2年	後期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	単位
選択	卒業研究Ⅱ	実習・実技	矢嶋久美子・伊藤美散	6

授業の到達目標	2年間の集大成として、各自テーマを決めて研究、制作、発表までを企画し、進めていきます。
---------	---

授業の内容	各自の目標に向かって、研究、実習を進めるため授業内容は個人によって違います。
-------	--

回	授業計画 及び 学習の内容
1	各自、研究・実習
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	↓

成績評価の方法
授業態度、出欠席、研究課題による総合評価

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)

授業初日持ち物 筆記用具	学校で準備する教材など
-----------------	-------------

配付資料

渋谷ファッション & アート専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	学年	学期
服飾専門課程	ファッション総合科	2026年度	2年	後期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	単位
選択	卒業研究Ⅲ	実習・実技	矢嶋久美子・伊藤美散	6

授業の到達目標	2年間の集大成として、各自テーマを決めて研究、制作、発表までを企画し、進めていきます。
---------	---

授業の内容	各自の目標に向かって、研究、実習を進めるため授業内容は個人によって違います。
-------	--

回	授業計画 及び 学習の内容
1	各自、研究・実習
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	↓

成績評価の方法
授業態度、出欠席、研究課題による総合評価

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)

授業初日持ち物 筆記用具	学校で準備する教材など

配付資料